

平成28年度
全国消防団員意見発表会、
消防庁消防団等表彰及び
消防庁消防団協力事業所表示証交付式

報告書

平成28年度
全国消防団員意見発表会、
消防庁消防団等表彰及び
消防庁消防団協力事業所表示証交付式

報告書

平成29年3月
消防庁

目次

開会挨拶	1
平成28年度 全国消防団員意見発表会	4
意見発表	6
審査員・講評	22
平成28年度 表彰式等	28
消防団等地域活動表彰式	29
防災功労者消防庁長官表彰式	31
消防庁消防団協力事業所表示証交付式	33
代表謝辞	35
祝辞	36
消防団等地域活動表彰	38
消防団表彰	39
事業所表彰	51
平成28年度 消防庁消防団協力事業所表示証交付事業所	56

開会挨拶

消防庁長官

青木 信之



平成28年度全国消防団員意見発表会、消防団等表彰式、消防団協力事業所表示証交付式を開催するにあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は御多忙のところ、遠方より多くの方に御参加をいただきまして、ありがとうございます。

消防庁長官就任以来、災害があった地域を始め、様々な地域で消防防災の最前線で献身的な取組をされておられます消防団員の皆様の話を伺って参りました。消防団は消防防災の要としてのみならず、地域社会の維持、発展の礎でもある、そう思っております。

本日、ご出席いただいております消防団、消防団に協力いただいております事業所の皆様方には深く敬意を表しますとともに、改めて感謝を申し上げます。

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立をして3年が経ちます。何としても消防団の充実強化を図っていかねばならないわけではございますが、少子高齢化が進む中、団員の確保ということはそう簡単ではございません。知恵を絞りながら我々としても、最大限の努力をして参ります。

本日は、まず、11道県から選ばれました消防団員によりまして意見発表会が行われます。発表者の皆様には、これまでの活動、経験を通じての意見、

提言につきまして、熱意ある発表をお願いしたいと思いますが、私どももその意見発表を今後の消防団の充実強化にすべて生かして参りたいという風に思っております。

また、お忙しい中、その意見発表会の審査にあたる審査員の皆様にはいろいろ御手数をお掛けします。甲乙付けがたい審査になるかと思えますけれども、よろしくお願い申し上げます。

意見発表会に引き続きまして、消防団等地域活動表彰をさせていただきます。地域に密着し、他の模範となる活動を行っておられます消防団や消防団活動に深い理解、協力をいただき、地域防災力の向上に寄与いただいている企業、事業所を表彰させていただくものでございます。日頃の継続的な取組、改めて敬意を表しますとともに、今後とも先導的な取組、よろしくお願い申し上げます。

次に防災功労者消防庁長官表彰をさせていただきますが、大規模な自然災害、火災、事故等の現場におきまして、顕著な活動実績が認められる消防団等を表彰させていただくものでございます。4月には熊本地震、8月には台風10号の影響に伴う岩手県をはじめとした水害、年末には新潟県糸魚川市での大規模な火災、こうした災害、火災の現場におきまして、消防団の皆様には本当にがんばっていただきました。過酷な状況の下で、自らも被災

している中で、地域で最も身近な消防団の方々が、いち早く現場に駆けつけ、消火、救助、避難誘導等の活動に献身的に携わっていただきましたことによりまして、多くの尊い人命が救われました。誠にありがとうございました。避難所における活動では、地域住民の支えにもなったと思います。心から敬意を表する次第でございます。

続きまして、消防団員確保への御協力や従業員の消防団活動への参加に対する配慮をいただいている62の企業、事業所の皆様に消防団協力事業所表示証の交付をさせていただきます。サラリーマン化が進む中で、被雇用者に、場合によっては事業所のある市町村で消防団員になっていただく、こうした取組も今後ますます必要となって参ります。御協力のほど、引き続きよろしくお願いを申し上げます。

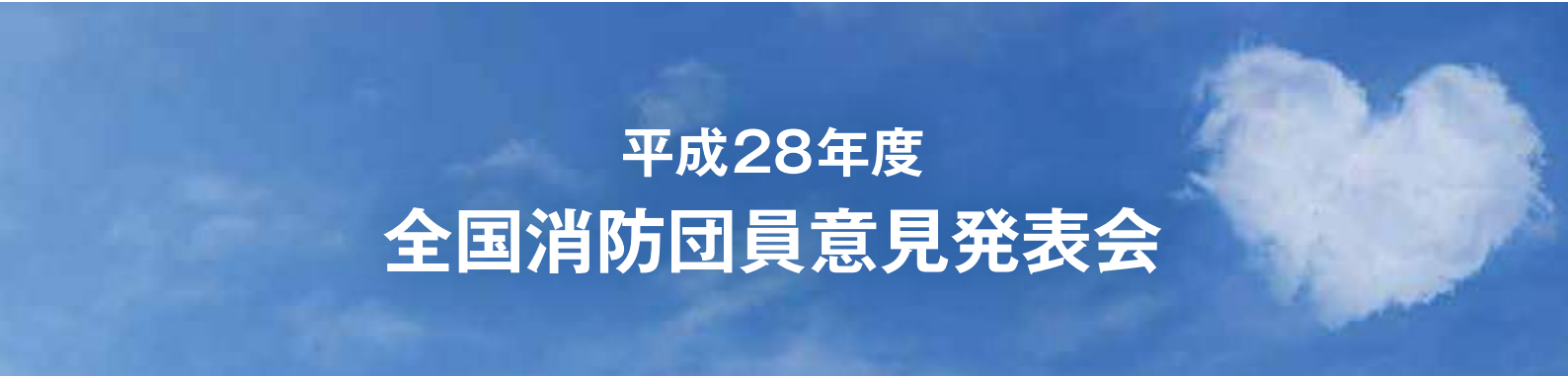
昨日は、6年前の東日本大震災の追悼の催しが各地で行われました。我々は忘れることはできないわけでございますけれども、しかし、今後も首都直下地震、南海トラフ地震等が懸念されているところでございます。

地域の安心、安全を担う消防団に対する国民の期待は、ますます高まってきていると思います。消防庁としても、消防団の充実強化に向け、最大限の取組を進めて参ります。皆様方におかれましては、

今回の受賞を機に、これまでの経験豊富な知識を生かして、地域防災力の向上になお一層お努めいただき活躍いただきますことを心からお願いを申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

平成29年3月12日

消防庁長官 青木信之



平成28年度 全国消防団員意見発表会

日程 平成28年3月12日(日)

会場 ホテルルポール麹町 2階ロイヤルクリスタル

平成28年度 全国消防団員意見発表会

最優秀賞及び優秀賞を除き発表順、敬称略

賞	都道府県	所属消防団	発表者	発表演題
最優秀賞	山口県	宇部市消防団	西村 愛	大丈夫ですか？
優秀賞	滋賀県	野洲市消防団	福永 和真	八王子市から野洲市へ
優秀賞	熊本県	美里町消防団	石原 恵	津波に飲み込まれた町で学んだこと
優良賞	北海道	札幌市南消防団	二宮 理恵	つながる心、つなげていこう～世代を超えた地域防災～
優良賞	栃木県	那須烏山市消防団	齋藤 晋太郎	地域防災と私
優良賞	神奈川県	茅ヶ崎市消防団	下瀬 比登美	女性消防団員としてできる事、考える事
優良賞	福井県	南越消防組合南越前消防団	寺木 茜	かっこいいママ(女性消防団員)
優良賞	愛知県	みよし市消防団	加藤 貴大	消防団活動から学んだこと
優良賞	島根県	安来市消防団	久代 希美	消防団は身近な存在
優良賞	香川県	坂出市消防団	神内 秀孝	いつかまた自信を持って
優良賞	福岡県	柳川市消防団	上村 京輔	自分にできること



〈全国消防団員意見発表会〉



大丈夫ですか？

山口県 宇部市消防団
西村 愛



「大丈夫ですか？」——皆さんは近所に気軽な声掛けが出来ますか？最近「面倒だから」と近所で声を掛け合うことも少なくなってきました。しかし大きな災害が発生したとき、声掛けが人命に関わる重要なキーワードになります。そして災害時に、地域の大きな力になれるのは消防団だと考えます。私の父・兄も消防団員で、幼い頃から消防団が身近な存在でした。火災現場に向かう父や訓練を行う兄。とても頼もしく、心強い二人の背中を「私も追いかけて！」——と思い入団しました。

宇部市女性消防隊は平成25年に発足し現在は20名で活動しています。活動内容は応急手当普及員として、救命講習への参加。高齢者の防火・家庭訪問。自主防災訓練などに参加しています。そして昨年、宇部市女性消防隊として、初めて女性消防操法大会に出場しました。結果こそ残せませんでしたが、厳しい訓練の中で、団員同士の繋がりが、より強くなり、また普段の生活には無い充実感や達成感も味わうことが出来ました。更にこの操法大会

が他の女性消防隊との交流を生み、県内の女性消防団員の繋がりを意識し、消防団への愛着を強く感じました。その一方で、宇部市では消防団員の減少——という問題に直面しています。そのことは操法大会の訓練を行うにも人が集まらないことや、将来的には現場活動自体にも支障をきたしてることが懸念されます。昨年、市民の消防団に対する認識・イメージに関するアンケートを実施したところ、消防団が必要な組織である事は認識されていますが、「どんな活動をしているのかわからない」「訓練が厳しい」「自分の時間がとれない」等、思った以上に悪いイメージが多く、入団希望者が少ないのも仕方がない……と感じました。イメージを変え、団員の減少に歯止めを掛けるためには、地域での活動をもっと積極的に行っていくべきではないでしょうか。例えば、地域の祭りや行事などに消防団ブースを設置し、活動内容や訓練の様子、消防団員の実際の声など、市民の皆様が疑問に感じることをこちらから発信していくべきだと考えます。また、若い世代には同世代の団員、女性には女性団員が声をかけると親近感も沸き、様々な人との繋がりができる——そんな消防団の良さもアピールでき、入団につながると思います。更には「いつも身近な消防団」のアピールにもなると考えます。消防団員の顔を見ることは消防団を身近な存在にし、市民の安心安全に繋がり、市民からの信頼は消防団員の誇り・使命感の向上に繋がります。地域とふれあい、消防団を知ってもらう。そして、繋がりをより強くすることが、いざというときに、地域の大

きな力になると考えます。まずは気軽な声掛け。消防団から始めてみませんか？「お隣さん、大丈夫ですか？」——ご清聴ありがとうございました。





八王子市から野洲市へ

滋賀県 野洲市消防団
福永 和真

「カッコええなあ！」勇敢に、炎に立ち向かう団員の姿を映したポスターに、衝撃を受けたのは3年前のことでした。当時、私は東京都八王子市で学生生活を過ごしており、大学三年生でした。ポスターを見て、消防団に興味を持ち、八王子の市役所に電話をかけて見学に行きました。10名ほどのおじさんがテキパキと活動をしていました。「ここで自分を磨きたい！」と思い入団を決めました。「市役所に自分から電話をかけたなんて聞いたことが無いよ」と、何人もの先輩に言われましたが、「せっかく入ったんやから力を付けろよ」と、暖かく迎えてもらいました。こうして都内でも有数の観光地、高尾山のふもとで私の消防団活動は始まりました。毎月山奥までポンプ車で行き、放水の訓練をしました。火災発生の連絡を受けて現場に行き、何台もの消防車がサイレンを鳴らして駆けつけるのを見て、足が震えてきたのを覚えています。「出初式」の日は、住民の応援を背に「辰あげ」の儀式を行いました。「辰あげ」というのは、管轄する地域を回り、地域の住民に見てもらいながら放水をし、消防団活動をアピールする、八王子市消防団の伝統の行事です。中でも一番記憶に残っているのは、平成26年2月の大雪の日の出動です。2週にわたって八王子市では、70センチを超える滋賀県でも経験したことのない大雪の中、火災の発生に備えるために、辺り一面真っ白な地面を筒で叩いて消火栓を探し除雪するという作業を消火栓の数だけ何度も何度も行いました。落雪で家から出られなくなったお婆さんの為に雪を掻いて道を作るという作業も行いま

した。「地域を守る」とはどういうことなのかを体験できた日になりました。この年の夏、私は滋賀県の操法大会へ見学に行きました。故郷・野洲の操法は、迅速・正確で「野洲を守る！」という熱い思いがひしひしと伝わってくるものでした。社会人になって滋賀に帰ったら、「野洲の消防団に入りたい」と、この操法を見て、更に強く思いました。念願が叶い、昨年春、私は野洲市消防団に入団することが出来ました。消防団活動の辛さ・しんどさ、それを遥かに上回る、楽しさ・やりがいを知っての入団のつもりでした。しかし、同じ消防団活動でも時間に余裕のあった学生の頃と、社会人になってからは、大きな違いがあるんやなあと、仕事と活動の両立の難しさを感じた1年でした。とはいえ、目標であった「故郷・野洲の消防団の一員や」という嬉しさを感じながら活動することができ、消防団に入らなかったら知ることができなかった新しい地域の仲間、地域社会との繋がりにも出会うことが出来ました。私の消防団活動はまだ始まったばかりなの



です！3年前、感銘を受けたポスターの団員のよう
に、万が一の火災現場でも的確に行動が出来るよう、
消防団活動を楽しみながら成長していきたいです。
そして、私はこれから経験することを地域の仲間
に伝えて、野洲のために頑張る消防団員を一人で
も多く増やしていくことが、私の使命だと考えて
います。ご清聴ありがとうございました。





津波に飲み込まれた町で学んだこと

熊本県 美里町消防団
石原 恵

私は人口1万人ほどの所謂、中山間地域と呼ばれる町で生まれ育ち、地元の役場への就職を機に消防団に入りました。この春で団員歴6年になります。私が所属する女性隊の活動の一つに「独居老人宅訪問」があります。これは町内に住む、80歳以上の一人暮らしの方のお宅を訪問し、防火啓発や災害に対する備え等の確認調査を行うもので、今年度も350件ほどの訪問を実施しました。その他、炊き出し訓練、心肺蘇生法や、AEDの使い方の指導など、様々な活動を行ってきましたが男性隊員とは違い、消火救助活動に直接参加することは無い為、これまで地域防災における自分たちの役割について深く考えることはありませんでした。しかし平成27年度の1年間、宮城県・女川町役場に震災復興職員として派遣されたことで私の防災意識は大きく変わりました。女川町の震災前人口1万14人。其の町が被災し、死者・行方不明者数827名と甚大な被害を出しました。対人口比率にすると8.26%。これは東日本大震災の被災自治体のうち、最も高い

数値です。私は女川町でたくさんのことを学びましたが、特に印象に残っているのが、私の上司だった方がふと話してくださった震災当時の経験です。

6年前の3月11日。沿岸部に住む人を高台に避難させるために役場職員は各地域に分かれ、「津波が来ています！高台に逃げて下さい！」と声をかけ巡回していたそうです。津波が来ているのは分かっているけれど、まだ要援護者が残っている——そんな切迫した状況の中、おじいさんが避難の呼びかけにも応えず、一人じっと座っているお宅がありました。何度も何度も上司が「津波が来ています！高台に逃げて下さい！」と叫ぶのに、おじいさんは全く動こうとしません。もう時間は残されておらず、公用車には車を持たない住民を乗せていました。上司は「このおじいさんは家に残りたい、という意思があるんだろう、このおじいさんの為に他の生命まで犠牲に出来ない」と考え、おじいさんを一人残し、その場を後にしました。——その直後、巨大な津波に町は飲み込まれてしまいました。震災から数日経って、職場でその時の話をしたところ、そのおじいさんは、聴覚障害者であったことを知らされました。上司は「あの時そのことを知っていたなら、力づくでも引き釣りだして避難させていたのに」と、ふと話してくださいました。「多くの命を救いたい」と最善の行動を取ったつもりが震災から時間が経った今も、心にずんと残る後悔となっているのです。この時、地域の要援護者が把握され、現場で動く人間に情報提供されていたのなら、スムーズな救助・避難誘導が出来ていたかも



しれません。私が訪問している地元のお年寄りの殆ども自らの足以外に移動手段を持たず、また歩いていける距離に避難所が無い方、耳が遠い方、人工透析など、特別なケアが必要な方も大勢いらっしゃいます。地震に対する防災意識が比較的低いと言われていた九州。昨年の熊本地震はそんなわたしたちに「災害は、いつ・どこで起きてもおかしくない」という事をまざまざと見せつけました。私達女性隊が今、災害現場の最前線に行かずとも、地域防災の為にできることが、いざという時に助けられる命を救うために、日頃から地域で要援護者の情報を把握し、相互援助するネットワークを作る、そして日頃の活動の中で集めた情報をそのネットワークで、共有できるような形にデータ整

備することではないでしょうか。私達の消防団活動は地道ですが、確実に大きな目標に向かって前進しています。以上です。





つながる心、つなげていこう ～世代を超えた地域防災～

北海道 札幌市南消防団
二宮 理恵



我が家では、消防車のサイレンを聞くとすぐに災害情報を確認する事が、子供の頃からの習慣でした。それは、父が消防団員として活動していたからです。「あの辺だな、したっけ行ってくる。」そう言って活動服に着替えて家を飛び出していく父の姿は、「地域のために頑張っているんだ。」と頼もしく見えたものです。

そんな父が亡くなった後、私の中ではずっと消防団のことが気にはなっていましたが、あと一步を踏み出せませんでした。そうした時に、南消防団では団員219名中52名が女性で活躍していると聞き、私もできることがあるかもしれないと思い入団しました。

私たちが管轄する札幌市南区は、南北に約37km、東西に約33km、総面積は657km²と市の約60%を占めています。その多くは大小の山々に囲まれ、冬は辺り一面が雪に覆われる豊かな自然あふれる地域である一方、土地柄から山菜取りでの遭難や山火事が多く発生します。

そのため、夏はスキー場を利用した林野火災訓練。飛び火があったとの想定で、男女区別なく背負い式放水器具をしょって山の急斜面を登り降りし、給水と放水の繰り返し。汗を拭う体力もなくなった私の背中に「まだ消えてないぞ!」と叱咤が飛びます。「現場、鎮火、撤収」命令を聞いたときは安堵感と達成感を味わいました。

冬は国道沿いや住宅街の消火栓除雪。腰高の消火栓が形もわからないほど雪にスッポリ埋まってしまうため、標識ポールを目印に見つけ出して掘り起こさなければなりません。「今日はナマラしばれるけど、がんばるべ」と先輩に励まされながらも、寒さで凍りつきうまく動かない手での作業はとても辛く翌日は筋肉痛でした。ですが、防災訓練や地元のお祭りに参加した時など地域の方々が声をかけてくれます。「いつも御苦労さま。ありがとね。」

「なんもなんも。変わらないかい?」と答える先輩の姿を見て、地域住民は私たちの活動をしっかりと見てくれている、信頼されているとやりがいを感じました。

また、私は市民へ応急手当の指導を行う『南消防団救命指導コスモス隊』の一員でもあります。必要な知識と技術は学んだものの、うまく指導ができず思案していた時、「いざっていう時に行動してもらうための講習だから、受講者には確実に覚えてもらえるよう工夫しないとな。」という言葉聞き、そうか私の目の前には素晴らしいお手本があると気づきました。それからは先輩方の指導姿勢や雑談すらも見逃さず、受講者の反応に合わせて工夫することを心掛け、自己満足な指導で終わらないようにしています。南区では救急車が到着するまでの間に、バイスタンダーが実施した応急処置によって命を取り留めた事例が多く、講習依頼も年々増加傾向にあります。コスモス隊の活動が人命救助に繋がっていると、とても励みになっています。

昨年、北海道には1つの台風が接近、3つの台風が上陸し、道内各地に甚大な被害をもたらしました。これは、観測史上初めてのことでした。いつ何があるかわからない災害発生時に、迅速に行動し、自分たちの住む町を自分たちで守る為、日々の訓練の重要性を改めて感じました。

こうした消防団活動を通して分かった“自らの郷土は自ら守る”という消防の精神を貫いた父の心、地域住民が安全に暮らせるようにと陰ながら支える先輩方の心を絶やすことなく次世代へつなげていくことが私の役目であり、父の希望でもあるのではないかと思います。

次は、私がつなげていこう。そう心に誓い、これからも活動を続けていきます。

ご清聴ありがとうございました。



地域防災と私

栃木県 那須烏山市消防団 齋藤 晋太郎



栃木県那須烏山市消防団・第二分団第一部・齋藤 晋太郎。
——私が中学3年のとき学校で授業を受けてると、突然先生に呼ばれました。「齋藤、ちょっと来なさい」促されるまま先生の車に乗りました。車内ではずっと無言でした。着いた先は私の家でした。私の家であると同時に、火災現場でした。私の家が全焼していました。それから12年後、地元の消防団から入団の誘いを受けた時、自宅までわざわざ来てくださった先輩団員の言葉は、「消防団活動っていうのは決して楽なものじゃないよ」。それを受けた私は「臨むところだ！ やってやる」——正直そんな心境じゃありませんでした。大学を卒業して、地元に戻ってきて数年。ようやく就職が決まったばかりの私にとって、消防団からの誘いは正直「面倒事が増えた」そんな気持ちでした。過去自宅が火事になって、その時消防署の方々、消防団の方々に大変お世話になったにもかかわらず、当時の私は地域防災というものに対し、あまりにも無関心でした。しかしそんな私も、消防団に入って5年が経ち、「変わった」と感じています。地元の火災だけではなく、近隣の地域の火災にもほぼ出動しています。また消火活動だけではなく、操法大会などの行事にも先輩団員たち、仲間の団員たちと共に一生懸命取り組んで、本当に充実した消防団活動を送ることができている——そう考えています。

突然ですが、皆さんに質問があります。皆さんの消防団では昼間、火災が起きた時、何人の団員が出動できますか。私の部では結果的には10人近くが出動できます。しかし、その中で火災の第一報を聞き、消防自動車を運転して、火災現場に真っ先に駆けつけられる——それが出来るのは一人か二人。限られた団員だけです。団員の半数近くが、自宅から、地元から1時間近く離れた場所に職場を持っているからです。消防団が火災現場に真っ先に駆けつけられない——そうした問題が出てくる。こうした現実直面しています。

ではそうした問題にどう備えていけばいいのか、それを考えるきっかけになったのが、去年、私が住む那須烏山市の中心部で起きた火災に出動した時のことです。住宅密集地で起きた火災でした。緊迫感がある中、しかし地元地域では無かった為に、消火栓の場所、防火水槽の場所、それらを探すのは簡単なことではありませんでした。また交通誘導等も上手くいきません。そんな時、地元の水理の場所、また道路の状況を良く知っている地域住民の方々とうまく連携が取れていたら、たとえ消防団が到着するのが遅れたとしても到着した消防団員が少なかったとしても、「もっと迅速で的確な消火活動が出来たのではないかな？」——そう考えるようになりました。

しかし地域の住民の方々にいきなり「消火活動に参加してくれ」といってもそれは難しいことです。そんな時思い浮かぶのは、消防団を辞めた後でも、火災現場で消火活動を支援してくれる消防団OBの姿です。消防団活動を経験して、消火活動というものによく理解がある。そうしたOBが地域に住み続けていてくれる——それはとても心強いことです。消防団が火災現場に駆けつけられない。その問題を直接的に解決する方法は中々ありません。難しいことです。また更に、頼りになる先輩方もどんどん辞めていきます。問題はますます大きくなるばかりですが、今、自分の中にある気持ち・決心としては「もうやるしかない」ということです。現役団員のうちは、先輩や地域の方々にお世話になりながらも消防団活動、精進していく。そしていつか消防団をやめたとしても、1OB、1地域住民として、地域防災に関わりを持っていきたい。持ち続けていきたい、そう考えるようになりました。過去、自宅が火事になったにも関わらず、地域防災に対して無関心だった私がここまで考えられるようになったのは、消防団という素晴らしい組織に入れたおかげです。以上、ご清聴ありがとうございます。



女性消防団員として できる事、考える事

神奈川県 茅ヶ崎市消防団
下瀬 比登美



皆様こんにちは。

My name is Hitomi Shimose. I'm from Chigasaki city fire volunteer corps. I belong to the 22 team.

よろしくお願い致します。

茅ヶ崎市という皆様どんなイメージをお持ちでしょうか。初めてお会いする方に聞くと、「湘南」とか「桑田佳祐」「サザンビーチ」などをイメージされており、ちょっと年配の方にお伺いすると「加山雄三さん」のお名前が出てきます。それでは初めに、茅ヶ崎市のことについて少しご説明をさせていただきます。茅ヶ崎市は人口約24万人、神奈川県の中南部、相模湾の真ん中に位置し、海岸線が約6キロあり、そのことから湘南や海のイメージが強いのかと思います。

つぎに茅ヶ崎市消防団のことについてお話を致します。昭和22年10月に茅ヶ崎市として市政が施行され、茅ヶ崎市消防団となり、今年で70年目になります。現在は団員が405名、女性団員は、私を含め14名が活動しております。平成22年から新たに女性20名が加わり、この7年間で「応急手当の普及啓発」「防火広報」「消防団のPR活動」などを積極的に行ってきました。

それではここで少し私の自己紹介をさせていただきます。私は平成20年から、約7年間、在日米海軍横須賀基地の消防予防課に勤務しておりました。就職試験ではもちろん消防のことにに関する知識があったわけではなく、アメリカ人の面接官でしたので、猛烈なアピールをし、この職に就く事ができました。毎日の業務は建物の中で火災が起きないようにチェックに行ったり、消火器を含む消火システムの

点検なども行い、また、基地の中にあります、幼稚園や小学校の子供達に、パブリック・エデュケーションという形で「火では遊ばない」「火災のときには何処に電話をするの？」などを教えていました。また初めて日本に来る軍人とその家族に対し、アメリカと日本の消防システムの違いなども教えていました。私が消防団に入ろうと思ったのは、この基地の予防課に属していたことがきっかけになります。基地近隣の市消防の皆様とお仕事をする機会があり、消防のイベントに参加した時、消防団の存在を知りました。私はかねてから、日本人は防火に対する意識が低いと感じていました。消火器の使い方などを教えていても「ウチ、火事出さないから」と聞こえてきたり、真剣さが見られない時もあり、このことから私が消防団に入団し、アメリカ式と日本式の良いいところを上手く融合させ、より良い火災予防・啓発活動ができればと思い消防団への入団を決意致しました。今は消防団に入団し、毎日大きなやりがいを感じています。しかし、女性が活動するにはまだたくさんの課題があると感じています。仕事や家事、育児などの時間制限があり、女性にとってはまだまだ敷居が高いイメージがあると思います。こういったことで新規入団が厳しい状況は、まだ考えられます。私はこれからも様々なPR活動を通じ、幅広い方々に防災啓発活動を行っていきたいと思っています。また新たな団員の確保にも繋げていきたいと思っています。最後にこのような場でスピーチが出来ることは、私にとってとても光栄に思っています。Thank you very much for listening my speech. ありがとうございました。



かっこいいママ (女性消防団員)

福井県 南越消防組合南越前消防団
寺木 茜



「わ～！消防士さんってかっこいい！結婚するならあんな人が良いなあ」——海外の映画を見て、友達とそんな話で盛り上がっていた独身時代。しかし人生そう上手く行くはずもなく、今の旦那様と結婚して、平々凡々と幸せな日々を過ごしていた、そんな私に突然降ってわいた話が「自分が消防団に入れる！」という夢のような話でした。過去に抱いていた「消防＝かっこいい」という感情が一気に蘇り、私は地元の消防団に新たに創設された山海里分団への入団を即座に決めました。初めは興味本位の軽い気持ちで入団したこともあり、消防団員として、訓練や活動に取り組んでいくことは想像以上に大変で、最初の頃は男性社会独特の雰囲気にも飲まれてしまい、発言するどころか、皆で会話を交わすことさえ出来ませんでした。

そんなある日、消防のイベントで、一つのブースを企画・担当することになり、女性消防団員の皆で打ち合わせをすることになりました。しかし、打ち合わせといっても、最初は皆意見も出ず、担当していた消防署員の方が提案してくれる内容で話が進んでいきました。すると、一人の団員が「自分の子供を連れていきたいのだけれど、終わるまで一緒に居てもいいですか？」と質問したのです。今まで誰も考えていなかった一言に、沈黙していた皆が「子供の面倒を皆でみよう」等、いつのまにか全員が当日の雰囲気を想像するようになり、最後には「私達の子供だったら、きっと喜ぶだろうな」をコンセプトに1から内容を考え直すことになりました。その結果、イベントでは防災の紙芝居や、消防車の塗り絵コーナーを設けるとと共に会場の飾り付けや塗

り絵の展示などを企画し、イベントは大成功！参加してくれた子どもたちは楽しそうに時間を過ごし、たくさんの子供達に消防を感じてもらうことが出来ました。そして、私たち自身も「消防団員として出来ることがある！」と初めて実感できた瞬間でもありました。また、山海里分団で出場した消防操法大会では、チームが一丸となり、やり終えた時の拍手喝采と達成感。そして何より子どもたちの「ママ！かっこよかったよ！」と言う一言に涙が溢れたことは一生忘れられない思い出です。

今でも友人からは「消防団って大変でしょう？」と聞かれます。でも今はそれ以上に消防団員だからこそ経験できることがたくさんあり、本当に充実しています。私は、消防団に入る前、勝手に「消防＝男性社会」と思いこんでいました。でもいまは消防が決して男性だけの社会ではなく、女性が活躍できる・女性が必要とされることもたくさんあると私は思います。だからこそ、女性である私達が無理に男性の消防団員と同じ目線で考えるのではなく、素直に女性の目線で考える事が大事だと。——これからは、女性の消防団員として女性だからこそ、気付き考えられることを、この山海里分団を通じて、もっともっと色々なことを発信していきたいと思っています！「これからもかっこいいママでいたいから」——終わります。



消防団活動から 学んだこと

愛知県 みよし市消防団
加藤 貴大



「え？消防団？」大学に入学し、公安系の就職に強いといわれている加藤教授のゼミを希望し、初めて授業に参加したときのことでした。「東海学園大学機能別分団」、愛称ちいむ・ともいき。「皆さんは消防団に入り、先輩と共に消防団活動に参加してもらいます。嫌ならばゼミを辞めてもらっても構いません。」あまりの唐突な出来事に初めは理解することが出来ず、迷っていましたが、私は友人と共に初めて見ることにしました。最初の活動は地域小学校の下校時、見守りパトロール活動でした。天候にかかわらず、集合10分前、週3日。三班編成で行っています。対象としては、小学校1～2年生を対象とし、家まで安心・安全に帰ってもらうように見守っていることが活動内容の一つです。地元パトロール隊の方と親しげに会話をする先輩や、子供からちょっかいを掛けられたり、笑顔で手を振り返している様子を見て、先輩の姿がとても「地元根づいている」そう強く感じました。その後は、消防団として水防訓練や防災訓練、また大学に隣接する地区の訓練に参加したり、応急手当普及員の資格を取得したりと、実践に即した技術を身に付けていきました。

そんな中、ふと「そもそも消防団とはなんだろう？」という疑問が沸き、先輩に尋ねてみると意外な言葉が返ってきました。「ウチの発足の原点は阪神淡路大震災なんだよ。あの時、高齢者の次に死亡者数が多かったのは大学生なんだ。地方から出てきて安いアパートに住んでいた学生が、建物の崩れた下に埋もれてしまい、どこに誰がいるのかを地域の人把握することが出来ず、助かる命が助からなかった。先生は、災害時に大学生の被災者を出したくないという想いで学内に防災・防犯ボランティア組織を作る必要性を強く感じ、現在に

至っているんだよ」と先輩から聞きました。私の心に残っている「阪神淡路大震災」という言葉。私が生まれる1ヶ月前の出来事で、当然記憶にはありません。ですが、物心ついた頃からは、多くの人に当時の話を聞いています。普段から先生は、「大規模災害時、皆さん一人一人が、一つの班のリーダーとなり、また大学内にいる生徒を引き連れ、地域住民の救助に向かうんだぞ」とよく言っています。それまで何度となく聞いてきましたが、実際に、実感する訓練が昨年ありました。それは、常備消防との訓練です。大学内で多くのけが人が出たという想定での訓練が行われました。大学内ということもあり、私達、機能別分団も消防隊の指示の下、何人ものけが人を搬送したりしました。正直やっている最中はとてもきつかったですが、訓練を終えた後には達成感と満足感とともに、「本当の大規模災害時には消防隊が間に合わないかもしれない」「今日のような的確な指示を私達、消防団が出していく必要がある」と強く感じました。

消防団活動とは何でしょうか。消火活動、それに伴う各種訓練。火災を未然に防ぐ広報等、予防活動が主な活動です。私は思います。地域の防犯・防災活動のリーダーこそが今後の消防団に必要なのではないのでしょうか。地道な地元での活動。市全体での活動。個々のスキルアップにおける活動。それらを統合し、幅広い技術・幅広い知識を身に着けることで、活動内容の幅は無限に広がり、また団結した力には2倍3倍ではなく2乗という大きな力になるということを、この4年間で学びました。私は4月から警察官になります。消防団活動で得た数々の経験を活かし、ときには連携し、ときにはリーダーとして、地域の安心安全を守っていくことを誓います、以上です。



消防団は身近な存在

島根県 安来市消防団
久代 希美



「消防団に入らんか？」——「え？！私がですか」と驚いて声をあげたのは昨年3月のことでした。消防団について詳しく聞いてみると、わたしが知らなかった活動や女性団員の存在。そして近年、消防団は減少傾向にあるということを教えていただきました。今まで消防団と聞いても何も知らなかった私は消防団に対して特に関心をもつこともなく生活をしていました。友人に、消防団のことを聞いても、その時の私と同じように「消防団の存在を知らない」とか「消防団は体力が必要だろうから自分では務まらない」また、「硬そうなイメージ」と思っている声を多く聞きました。安来市消防団は、この4月から女性団員を一つにまとめ「女性隊」を編成しています。私は声をかけていただいたことがきっかけで消防団に入団し、女性隊の一員として初任者訓練や女性隊会議に出席して感じたことが有ります。それは以前、私が聞いた地域の方の声やイメージとは異なるものでした。

消防団の先輩方は皆さん気さくに話しかけてくださり、指導して下さいます。会議のときには笑いが起きることもあります。しかし和気あいあいとしている場面とは一転、部隊訓練では大きな声を出し、節度のある行動で全員がまとまって動きます。これは消防団を知らずに生活してきた私にとって異様な姿ではありましたが、後で消防団として必要なことだと教えられました。

以前の私は何故、消防団について知識がなく、また関心をもつことも無かったのか考えてみました。——それは消防団の方と接する機会が無かったことが大きな理由で、消防団と聞いても、「誰が何の

ために活動している組織なのか、全く知らなかったこと」が原因ではないか、と思います。

消防団の一員となった今、私が一番に意識して取り組んでいきたいことは、自分の地域は自ら守る、ということです。消防団に入るまでは、そんなことは考えもしませんでした。しかし、いまは、「地域の方と消防団の接する機会を多く設けていきたい」——消防団について知ってもらい、「消防団は決して遠い存在ではなく、身近な存在」——ということをして、地域の方に感じてもらいたいと思っています。

女性消防隊員が火災現場に行き、放水することは、今の安来市消防団では計画されていません。しかし、災害は火災ばかりではなく、女性ならではの特色を活かした活動に災害現場での要求も増えてきていると聞いています。安来市消防団女性隊では、昨年11月に応急手当普及員の講習を受講し、私も普及員の資格を取得しました。この資格を取得し、消防本部の職員と応急手当講習などに同行して、普及啓発活動を行っています。これにより、女性隊としての活動の幅が広がり、何より消防団が市民と接する機会が増えたことが消防団をアピールする大きなチャンスだと感じています。しかしこれは大きなプレッシャーではありますが、ここで立ち止まっていたでは消防団は身近な存在——という私たちのメッセージは地域の方には伝わりません。まだまだ未熟な私ではありますが、努力を惜しまず、何事も吸収し、私達のほうから勇気を出して第一歩を踏み出していき、それが地域全体を繋ぐ輪となりますように頑張っていこうと思います。ありがとうございます。



いつかまた 自信を持って

香川県 坂出市消防団
神内 秀孝



「あんた、それ何の服着とんなあ」——職場でスーツから活動服へと着替えている私に聞く同僚。「えっと……、俺、地元の消防団入っとして、その活動服なんやけど、ちょっとカッコ悪いよなあ？」小さな声でぎこちなく返す私。これは、一昨年の夏、職場から、ポンプ操法大会の練習に向かう際、何人もの同僚と交わした会話です。入団してまだ二年目だった私は団員としての自覚が薄く経験も浅かった為、自信なく答えるしか無かったのです。県外の大学に進学した私が地元の市役所に就職したという、情報を聞きつけ、分団長自らが勧誘に来てくださったのが入団のきっかけでした。最初は市役所という仕事柄、「地元の人の誘いをむげに断ることが出来んからなあ……、というか、そもそも消防団って何しよんよ！……まあええか。とりあえず入ってみよ」という軽い気持ちで入団しましたが、初めての訓練の日は憂鬱で、長靴を履いた足がとても重かったのを今でも覚えています。いざ訓練が始まって何かなんだかさっぱりわからず、ただ先輩方の指示通りに動くのが精一杯。入団を後悔したこともありました。そんなある日、冒頭でも触れた、小型ポンプ操法大会の話が分団長から持ちかけられました。おそらく当時最年少であった私が断れるはずもなく、しぶしぶ引き受けたものの、「練習シンドイで」という周りからの刷り込みもあり、本当は嫌で嫌で仕方ありませんでした。しかし、この練習が後に、2つの大切なことを私に気付かせてくれたのです。

1つ目は仲間の大切さ、です。うだるように暑い夏の夜。家に帰る間もなく、毎晩職場から練習に向かい、ホースを担いでは伸ばし、伸ばしては担ぎの繰り返しで身体はボロボロでした。しかしそれと反比例するかのように不思議と心は軽くなっていたのです。……というのも練習に参加する前は話したことも無かった先輩方がまっすぐ伸びなかった私のホースをすぐに巻き直し「納得いくまで何べん

伸ばしてもええけん！いくらでもワシらが巻き直してやるけん」と笑顔でサポートしてくれましたし、およそ、私の倍は生きているであろう大先輩も「ちんたらしよったら、ワシが選手で出るんぞ！」と冗談交じりに叱咤してくれたのがその理由です。いつの間にか、疲れやしんどさよりも仲間に出る練習が楽しみになっていましたし、「一生この人と消防団やっていたい」と思うようになっていました。

2つ目は消防団の存在意義、です。私の分団がある王越町は、市街地から車を20分程度走らせたところに位置しており、三方は山、一方は海に囲まれた絵に描いたような田舎です。市街地へと続く海岸線の道路は大変、狭隘で、大雨の際は通行止めとなり、まさに陸の孤島と化してしまいます。町内は高齢化が進んでおり、一人暮らしのお年寄りの方も大勢いらっしゃいます。そんな王越町の方々にとっては有事の際、誰よりもすぐに駆けつけてくれる、私達消防団の存在そのものが日々の心の支えになっていると気付かされたのです。私達が訓練をしている姿や、年末夜警、台風接近時にパトロールをしている姿を見るだけで毎日を安心して過ごせる……そんな安心を届けることこそが、消防団の存在意義なのではないかと私は考えます。幸か不幸か私はまだ災害現場に立ち会ったことはありません。なので、町民の生命と財産を守るため……なんて大それたこと、とてもじゃないけど言えません。ただ、私を育ててくれたこの町に、この人達に、少しでも恩返しができるのなら、皆が1日でも長く笑顔で暮らせるように安心を届ける——そんな消防団員で在り続けたいと強く思います。「あんた、それ何の服着とんなあ？」——いつかまた聞かれることがあれば、その時は自信を持って答えられる気がします。「これ？これは消防団の活動服や。いや、ほんと、俺は皆に安全と安心を届ける消防団員なんや！かっこええやろ？」——ご清聴ありがとうございました。



自分にできること

福岡県 柳川市消防団
上村 京輔



私が幼かった頃、自宅前のアパートが火災に見舞われました。初めて目にした火災の光景を今でも覚えています。住人が無事だったことが不幸中の幸いでしたが、懸命な消火活動でも炎の勢いは衰えずに建物は全焼でした。幼かった私は炎に対する恐怖よりも普段から交流の合ったご近所さんが散り散りに引っ越しをしてしまい居なくなってしまった時の寂しさを今でも覚えています。この火災が大きなきっかけとなり、消防士になることが私の将来の夢となりました。それから十数年が経ち、自分の就職先を考えている時、高校の恩師から「別の仕事をしながらでも消防団員として消防活動に携わることも出来る」ことを聞かされました。消防士にこそなれなかったものの、幼い頃からの夢は地元の消防団員として活動することで叶えることができたと感じています。

消防団に入団した平成24年は九州豪雨に見舞われた年でした。今まで大きな自然災害を体験したことのなかった私にとっては忘れることのできない出来事です。柳川市は、有明海に面しており、河川の河口が位置しており、上流で降り続いた雨が今にも溢れそうな勢いで、流れてきました。自分には土嚢を積んだり、避難を呼びかけたりすることしかできませんでした。数時間後、2つの河川の堤防が決壊し、市内の約3分の1が大洪水になってしまったのです。翌日から続く、湿気った土砂や、畳の撤去作業は大変な労力を伴う作業でした。復旧は程遠い中、被災者からの「助かった・ありがとう」と感謝の言葉を聞いた時、私は本当に消防団になってよかったな、と感じました。また希薄になってい

た地域との繋がりの大切さ。消防団の存在意義について、考えさせられる重要な1年になりました。消防団員として火災現場や自然災害時に、活動することはごく当たり前のことですが、毎週金曜日の防火広報、年に一度の消火栓点検・消化器の入れ替えなど、通常時に行う作業こそが消防団に与えられた一番の任務だと考えています。防火広報では、普段は通らない狭い道を大きな消防車で走るには、それなりの運転技術も必要になります。なにより、有事の際、いち早く駆けつけるための訓練にもなっています。消化器の入れ替えについても、地域住民と顔を合わせることで、高齢者や耳が不自由な方が何処に住んでいるか知ることにより、有事の際の逃げ遅れが無いように備えることにつながっていると思います。このような日々の活動で、近年頻発する地震・豪雨などの自然災害を無くすことは出来ません。しかし全ての災害は減災することができます。地域を知ることが災害を最小限に防ぎ、被害を食い止めることに繋がると信じ、活動しています。まだ消防団員になり未熟な私ですが、地域との繋がりを第一に、柳川市の消防団の仲間と、僅かながらでも地域の力になりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

平成28年度 全国消防団員意見発表会 審査員

審査員長 日本商工会議所 総務部長
山内 清行

審査員 フリーアナウンサー 消防審議会委員
青山 佳世

プロレスラー 消防応援団一般社団法人ニューワールドアワーズスポーツ救命協会代表理事
蝶野 正洋

広島市安佐南消防団 女性消防隊隊長、消防庁消防団員確保アドバイザー
西部 美千代

NHK 制作局 生活・食料番組チーフ・プロデューサー
松本 健一郎

計5名の審査員が、「発表内容」「意見性」「発表力」の項目(各項目10点満点、合計30点満点)について、総合的に評価した。また、発表の制限時間は5分で、制限時間を経過した場合は、30秒ごとに2点総合点から減点した。

日本商工会議所

総務部長 山内 清行



本日は11名の本当に素晴らしい受賞発表を頂きまして、ありがとうございました。大変勇気をいただきました。消防団が本当に重要だということがよく認識できました。

まず、本日で受賞されました皆様、このご活動を支えているご家族、そして、関係者の皆様に心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

私は消防団、これこそがまさに日本が世界に誇る「道徳」であり、規律あふれる「良心」であるといつも思っております。私ども商工会議所は各地で災害が起こりましたら、対応にあたっております。その時に必ず現場で最後まで対応されているのは、消防団の皆様であります。地域の防災は、これから非常に重要になってまいります。皆様の、非常に重要な活動を広く国民に知っていただく必要があると考えております。

本日の皆様の発言は素晴らしく、甲乙つけがたいものでございました。特に二つ気づいたことがございます。まず、一点目でございますが、皆様は、常に日頃から訓練をされていらっしゃる、「誇り」と「使命感」と「自覚」が非常に強いことをひしひしと感じました。こうした方々が地域を支えていくのだということを改めて感じさせて頂きました。

また女性の方の発表も頂きました。「女性活躍推進」、と言われておりますけれども、女性の方々の

様々なアイディアによりまして、幅広い消防活動というものが、これからさらに広がっていくのだということを実感させて頂きました。

私事でございますが、昨日、うちの町会で発災型の防災訓練がございました。今年小学校に上がる私の娘が実際に消火器を使って消火活動を行いました。「少年消防団に入って、パパとママを私が守るね。」と言っておりました。そして、私の母などは町内会として炊き出しをし、皆で地域一体となっておりました。これこそが、まさにこれからの地方創生には重要である、と思います。この素晴らしい活動を地域の皆さんに知っていただく必要があります。地域総掛かりでの地域防災は大事です。これを前に進めてまいります。

最後に、一言だけ言わせて頂きたいと思います。消防団、最高です！この想いを全国に広めていきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

フリーアナウンサー

青山 佳世



審査員を務めさせていただきました青山 佳世でございます。本日は素晴らしい発表をありがとうございました。そして、おめでとうございます。私は数年前からこの審査を務めさせて頂いていますが、「審査をする」というよりも、現場で消防団活動を一生懸命努めておられる皆様たちの声と、それからキラキラ輝く、その眼差しに会いたくて1年とっても楽しみにしております。

今日もですね、皆様たちに負けないように背筋をシャンとして！——と思って部屋の掃除をしていたら、ぎっくり腰になってしまいました。背中中は真っすぐ伸びたんですけれども、曲がらなくなってしまいました、どうなることかと思いましたが、でもやっぱり皆に会いたいと思い、ここまで来ることが出来て、本当に良かったです。おかげで、より姿勢は良くなりましたし、腰は曲がらなくなりました。本当に皆様から今回もとても素晴らしい発言や思いを聞くことができました。

いつもいろんな事を感じるのですが、今回は特にいろんなきっかけでこの消防団に入られたなど。地域の皆様たちからの声かけがあり、あるいは大学のゼミを通じて入られた方もおり、いろいろな方たちがいるなど。それから、その昔はですね、多分、地域に入って赴任をしたら、もう否が応でも消防団に入られるみたいな、有無を言わせない！み

たいな感じで消防団を確保していたという話も聞いたことがございますけれども、今や時代は変わり、そういう手法はなくなりましたけれども、もっと違うアプローチで理解を深めたり、それから体験をするような形で、この消防団活動に少しでも、一步でも入って頂き、長くその活動を続けて頂くということがとても重要なのだと感じました。

それから、中には「消防団かっこいい！」と思って入ってきてくださった方が増えているということです。それは、やはりいろいろな災害などで消防団が命をかけ、そしてその住民の皆さまたちは地域を守っていく、その活動が報道されたりすることを見るにつけ、「消防団かっこいい！」と。自分の命だけではなくて、地域やその住民の皆さんたちの命を救う安心・安全を守るんだ、そういう思いを抱いてきている若者たちが増えてきているということ。今回まざまざと感ずることが出来ました。そういった皆さまたちをより一人でも多くこの消防団に入ってもらえるような、敷居をやっと少し低くする、それは活動を低くするんじゃなくて、入りやすい何か工夫をしていく、ということが非常に大事なのかなと思いました。是非ともこれから、日々の活動もさることながら、より「話しかける」とか、「PRをする」とか、そういうことまで消防団の皆様たちには求められているわけですので、大変なことだとは思いま

すが、是非頑張っていたきたいと思います。

私は「話をする」のが仕事ですので、自分でも決して上手だとは思ってないのですが、少しポイントを申し上げたいと思います。最近、ドラマ仕立てというか芝居仕立てでこの意見発表をされる方が増えつつあります。これは、その防災教室などでお芝居にして、住民の皆様たちにお伝えをするということが増えているからなのかなと私は思っているのですが、極めて完璧に近い意見発表だった、と思います。で、その際に一点。これは、意見発表会なので、「芝居を完璧にする」、ということよりも、「自分が何を感じ、それからこの消防団活動をより広めていったり、地域にあるそれぞれの課題をどういう風に克服していったらいいのか？」という、その思いが伝わるようなフレーズを工夫していただきたいということですね。要は、芝居の部分と自分の思いをメリハリを付けてお話頂く。そうするとさらに完璧なものになっていくと思います。

そして、もう一つは、自分なりの話し方で、意見を述べる方に向けては、自分の意見の込め方、というのか、思いの入れ方をメリハリを付けながらお話頂くと、さらに自分の思いがより多くの皆様方に伝わるだろう、ということだと思います。

今日の意見発表会で優秀賞になられた方も、それから入賞された方も大勢おられましたが、今日

の経験を生かしてさらに地元の多くの皆様たちに、今の思いと活動をお伝え頂きたいと思います。本当に「消防団すばらしい！」と思います。今日はありがとうございました。

講評

プロレスラー 消防応援団

一般社団法人ニューワールドアワーズスポーツ

救命協会

代表理事

蝶野 正洋



お疲れ様でした。今年は、去年と比べて非常に有意義な意見交換会だったような感じがします。男性も皆さん、今年は頑張ったので、もうガッデムはないと。

意見交換会、こういうところで、「どこに向かって話すのか？」というところが一つあると思うのですけれども、今回は「組織内での話し方」ということで、また、自分なんかは消防の宣伝のお手伝いをするときのように、全く知らない人たち・一般の人たちに対してという時とは違うと思います。今回、内部での、こういう意見のところ、ちょっと各地域の、「地域防災」と言われるくらい、本当にエリア・エリアによって、「もう状況が違います」ということで、その地域・地域によって、今度「問題点が違う」と思いますので、本当はそういう問題点、それに対する解決方法なりというのが出てきたら、もっと素晴らしかったかなと思います。

それから、全体的な意見としては、「世代交代してきているな」という感じがしました。女性の方たちの意見。去年は、女性と男性とというところで、男性はやっぱり入った自分のこと、「どういう経緯で入って、どういう気持ちで」という「本人の気持ちのこと」が多かったのですけれども、女性はやっぱりその「消防団としての役割はこうあるべきだ」というね、「方向性」について喋られていた、という意

識のものすごい差がありました。でも、今年は男性の方たちも、「地域に対して」という意見が出ておりました。それから、女性の方では、その「ママ消防団」とか、これはもうやっぱり「消防団員の7割の方が会社員だ」、ということでしたけれども、これから本当に「日中は誰が守るのか」と。地域によって違うのでしょうけれど。そういう部分では本当に女性、ママ団員というのは本当に課題だと思います。それから、東京都心、こういう場所になったら、消防団以外に防火管理者を配置している施設であったり、今度はそういったところとのコラボレーションというか、同じ市民協力者の人たちと「横との繋がり」というところがこれからテーマになってくると思います。地域・地域によって、それぞれ問題点があると思うので、是非今度は「自分の地域はこういう地域で、ここを直さなきゃいけない、このようにしなきゃいけない」、本当に防災ルールは、各地域・地域に、皆さんやってください、というのは、本当にエリアごとで違う、ということだと思うので、そういった意見がどんどん出て、その中で基本はやっぱり「自分たちで直すんだ・自分たちでこう解決していくんだ」ということが、出てきてもらいたいなと思います。

あとは、最終的には、「1市民の人たちが、どれだけ防災に対して意識を持たせるか、持つか」。消防

隊それから消防団の方たちが、あの人たちに任せればではないと思います。やはり、皆が、「地震があったり何かあったりしたときには、一人一人がちゃんと避難できるように」ということが、最終目的だと思うので。

皆さんもこれからよりわかりやすく伝えていく、という立場の役割が非常に強くなってくると思うので。でも、ここは青木長官、やはりこの上の消防団というのは、影の力持ちでありますけれど、ここに何とか光を当てるのは、この上の消防署であったり消防庁であったり、そういったところがやっぱり「彼らに光を当ててあげる」ということだと思います。自分自身で皆さんが本当にボランティア精神という、強い地元愛というところでやっているところを、「いや、俺は頑張っているよ！」と手を挙げるのはやっぱりおかしいと思います。やりにくいと思います。そこは、そういうところは我々がお手伝いするということで、「スーパーヒーローが皆いるよ」と。そしたら、皆さんが気持ちよく市民の前で活動ができる。そして、市民の人たちが、消防団の方たちを見たら「ご苦労様です、ありがとうございます」と言えるような形にするのが、消防団員の士気も上がるし、これから人を集めるということだと思うので。

とにかく、本当に世代交代をしているという形

が今日はしました。本当に今日はたくさんの意見聞けましたので、ありがとうございました。これからもがんばってください。ご苦労様でした！

広島市安佐南消防団 女性消防隊隊長、 消防庁消防団員確保アドバイザー 西部 美千代



11名の発表者の皆様、本日は大変お疲れ様でした。今日の皆様方の意見発表を聞き、その活動や思いなどが手に取るように感じられ、私も身を乗り出して聞き入っていたところでございます。ちょっと審査も忘れながら、聞き入ったところでございます。

皆様が各地域で色々なことを感じながら、時には大きな壁を乗り越え、また時には挫折することもあったでしょう。しかし、今日の皆様方の発表内容や姿勢を見ておりますと、とても力強く自信に満ち溢れた素晴らしいもので、とても誇らしく思いました。「私も同じ消防団でよかったなあ」とつくづく感じたところでございます。

私は、平成26年8月20日に発生した広島豪雨災害で、土砂災害の現場に行きました。男性団員の活動の大変さを目の当たりにし、日ごろから厳しい訓練を受けていることと、自分たちが市民の身体・生命を守るんだ、という強い気持ちを感じました。私たち女性団員もこの時初めて、大規模災害での支援活動を行いました。避難所での支援活動は、マニュアルもなく、手探りの状態で徐々に支援活動の内容を充実させていきました。私はこうした経験を皆様方の意見発表から、今後の活動は男性団員のハード面の活動と女性ならではのソフト面の活動をもっと融合させて、男性、女性団員が一体と

なって活動をしていくことが、「未来への消防団の在り方」ではないかと感じました。

今日の発表された方々の想いや気持ちを、もっといろいろな方に伝え、消防団の活動をアピールすることで、市民の方の理解を得るとともに、地域から愛される消防団として、市民の安心・安全に繋がる活動をしていきましょう。私は今日の発表者の方々と同じ消防団員として、この歩みは止めません。皆様との横のつながりを持ちながら、情報を共有し、今日のこの気持ちを日本の隅々まで伝えていきましょう。今日は本当に素晴らしい意見発表をありがとうございました。皆さま今夜はゆっくり休んで下さい。終わります。

NHK 制作局

生活・食料番組チーフ・プロデューサー

松本 健一郎



11名の皆様、本当に良い発表ありがとうございました。発表が始まって4分半でベルが鳴る時に「ああ、もうそんなに時間が経ったんだ」と本当に思いました。もっと長く話を聞いてみたいし、もっといろんなことを質問してみたい、とそれぞれに思わせるような発表だったと思います。

私どもは普段、消防団が置かれている厳しい状況について伝えることが多く、そこで、「今いる消防団の方は、どんなことを本当に思っているんだろう？」という興味を持って、今日この場に伺いました。皆様の発表で共通して感じたのは、「やらなければいけない」というのはもちろんなのですが、それ以上に「やりたいんだ」という気持ちを皆さんお持ちだということを強く感じました。それは多分、今の若い世代にとっても、すごく共感できる思いなのではないか、と思います。「最近の若いものは」というと、大体否定的な表現がつくのですが、こと「誰かのために役に立ちたい」とか「世の中のためになりたい」という気持ちにおいては、我々の世代よりも今の若い世代のほうが上なのではないかと、まあいろんな所、各地を回りながら話を聞く度に、そう思うことが多いのです。ですから、多分消防団の皆様の今日のような声が、そうした若い人に届けば、「かなりアピールできるのではないか」と思った次第です。

僭越ながら、この場に同席させて頂いた私も、そのお役に立ちたいと思いますし、今日発表されたような声がですね、一人でも多くの方に届くようになれば、と思います。いろんな職種の方が集まって、年齢もバラバラで、活動するという、消防団というのは、とてもなんというか、「新しい」というか、「今後の日本の社会のモデルになるような組織ではないか」と思いますので、今日の皆様の意見発表を聞いて、「ああ消防団の未来って、すごくこれからむしろ明るくなってくのではないかな」と感じた次第であります。発表した皆様、本当にどうもありがとうございました。

平成28年度 表彰式等

消防団等地域活動表彰式
防災功労者消防庁長官表彰式
消防庁消防団協力事業所表示証交付式

日程 平成28年3月12日(日)

会場 ホテルルポール麹町 2階ロイヤルクリスタル

平成28年度 消防団等地域活動表彰 消防団表彰 24団体

〈代表受領 愛知県 知立市消防団〉

都道府県	受賞消防団
北海道	胆振東部消防組合 鶴川消防団
岩手県	矢巾町消防団
山形県	飯豊町消防団
栃木県	高根沢町消防団
群馬県	高山村消防団
群馬県	東吾妻町消防団
埼玉県	長瀬町消防団
埼玉県	鶴ヶ島市消防団
埼玉県	富士見市消防団
東京都	式根島消防団
東京都	豊島消防団
神奈川県	横浜市旭消防団

都道府県	受賞消防団
福井県	南越消防組合越前市消防団
長野県	御代田町消防団
長野県	売木村消防団
岐阜県	可児市消防団
愛知県	稲沢市消防団
愛知県	豊田市消防団
愛知県	知立市消防団
滋賀県	多賀町消防団
京都府	綾部市消防団
岡山県	井原市消防団
福岡県	北九州市小倉南消防団
沖縄県	竹富町消防団



〈消防団等地域活動表彰 消防団〉

平成28年度 消防団等地域活動表彰 事業所表彰 9事業所

〈代表受領 東京都 株式会社植米苑〉

都道府県	事業所
北海道	大同産業開発株式会社
宮城県	株式会社宮城衛生環境公社
栃木県	株式会社日環
東京都	株式会社植米苑
新潟県	株式会社小出建設

都道府県	事業所
長野県	中野土建株式会社
京都府	社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設西七条
山口県	あぶらんど萩農業協同組合
愛媛県	波方ターミナル株式会社



〈消防団等地域活動表彰 事業所〉

平成28年度

防災功労者消防庁長官表彰 受賞団体 18団体

〈代表受領 岩手県 岩泉町消防団 新潟県 糸魚川市消防団 熊本県 西原村消防団〉

都道府県	事業所
岩手県	岩泉町消防団
新潟県	糸魚川市消防団
熊本県	熊本市消防団
熊本県	八代市消防団
熊本県	宇土市消防団
熊本県	宇城市消防団
熊本県	阿蘇市消防団
熊本県	大津町消防団
熊本県	南小国町消防団

都道府県	事業所
熊本県	小国町消防団
熊本県	産山村消防団
熊本県	高森町消防団
熊本県	西原村消防団
熊本県	南阿蘇村消防団
熊本県	御船町消防団
熊本県	嘉島町消防団
熊本県	益城町消防団
熊本県	甲佐町消防団



〈防災功労者消防庁長官表彰〉

平成28年度

消防庁消防団協力事業所表示証交付事業所 62団体

〈代表受領 茨城県 常総市消防団 静岡県 島田市消防団 鹿児島県 屋久島町消防団〉

都道府県	市町村	事業所
北海道	札幌市	中定建設工業株式会社
北海道	石狩市	厚田産業株式会社
北海道	石狩市	株式会社沢田建設工業
北海道	むかわ町	有限会社丸重清川
北海道	むかわ町	社会福祉法人愛誠会
北海道	置戸町	協同組合ウッディハウスおけと
北海道	幕別町	札内農業協同組合
北海道	釧路市	株式会社トヨタレンタリース釧路
岩手県	一関市	株式会社三ツ矢建設工業
岩手県	一関市	株式会社シンコーロードサービス
岩手県	一関市	株式会社山友建設
岩手県	一関市	株式会社須藤食品
岩手県	一関市	青柳建設株式会社
岩手県	一関市	大森工業株式会社
岩手県	宮古市	株式会社ウッティかわい
宮城県	石巻市	久我建設株式会社
宮城県	大崎市	株式会社藤山工務店
山形県	新庄市	株式会社新庄・鈴木・柴田組
福島県	三島町	佐久間建設工業株式会社
栃木県	日光市	株式会社阿部工務店
東京都	新宿区	株式会社八洋
神奈川県	横須賀市	社会福祉法人湘南アフタケア協会
新潟県	柏崎市	山崎工業株式会社
新潟県	村上市	有限会社共同土建
新潟県	村上市	株式会社山嘉土建

都道府県	市町村	事業所
新潟県	糸魚川市	小畑工業株式会社
新潟県	糸魚川市	田辺商事株式会社
新潟県	南魚沼市	株式会社クオンテック
新潟県	南魚沼市	株式会社トピアホーム
新潟県	南魚沼市	ヤマト設備
新潟県	南魚沼市	株式会社五十沢板金工業
新潟県	南魚沼市	株式会社割田組
新潟県	南魚沼市	北越急行株式会社
新潟県	南魚沼市	南魚沼森林組合
新潟県	南魚沼市	株式会社粉研パウテックス六日町工場
新潟県	阿賀町	株式会社巴山組
富山県	魚津市	朝野工業株式会社
石川県	輪島市	社会福祉法人門前町福祉会ふれあい工房あざし
石川県	輪島市	防災技建株式会社
福井県	おおい町	ハヤカワ商事株式会社
長野県	佐久市	株式会社タク技研
長野県	飯田市	飯田化成株式会社
岐阜県	下呂市	馬瀬建設株式会社
岐阜県	恵那市	恵那東海理化株式会社
岐阜県	中津川市	石原電機工業株式会社
岐阜県	東白川村	株式会社立保土木
岐阜県	白川町	丸ス産業株式会社
三重県	明和町	多気郡農業協同組合
島根県	奥出雲町	有限会社吉川工務店
徳島県	阿南市	王子製紙株式会社富岡工場

消防庁消防団協力事業所表示証

『多くの消防団員を雇用しその活動環境や処遇に積極的に配慮し、災害時には所有する資機材を消防団に提供するなど長年にわたり地域防災に深い理解を示してきた事業所』

今回、消防庁消防団協力事業所表示証交付証を交付するとともに、ゴールドマークが贈られた。このゴールドマークは市町村等のシルバーマークを交付された事業所の中から特に優良と認められた事業所に贈られる。

都道府県	市町村	事業所
高知県	黒潮町	かしま工業株式会社
高知県	黒潮町	山本建設株式会社
福岡県	北九州市	株式会社 P L U S 通信
福岡県	筑後市	筑後地区農業共済組合
長崎県	壱岐市	箱崎漁業協同組合
長崎県	時津町	有限会社植田瓦工業

都道府県	市町村	事業所
長崎県	対馬市	株式会社榮建設
長崎県	平戸市	増山建設株式会社
長崎県	平戸市	平戸建設株式会社
長崎県	平戸市	立石重機工業有限公司
宮崎県	都城市	都城地区農業共済組合
鹿児島県	出水市	鹿児島いずみ農業協同組合



〈消防庁消防団協力事業所表示証交付事業所〉

代表謝辞

熊本県

西原村消防団 団長

馬場 秀昭



本日、ここに消防庁長官をはじめ、多くの皆様のご臨席のもと、表彰の栄を賜りましたことは、身に余る光栄と受賞者一同心より深く感謝申し上げます。

近年、想像し得ない大規模災害が全国各地で発生しています。私の故郷、西原村でも昨年4月の熊本地震において震度7というとてつもなく大きな揺れにより、甚大な被害を受け、7名の尊い命と、家屋をはじめとした多くの財産を奪われました。そのような中、消防団員をはじめとした住民たちが力を合わせ、多くの命を救い出すこともできました。また、その後の瓦礫撤去や避難所運営、不審者対策のための夜間警戒巡視など、消防団員は昼夜を問わずに活動を続けました。地域コミュニティの大切さを再認識するとともに、西原村と西原村消防団を改めて誇りに思ったところです。復旧・復興は道半ばですが、西原村は、必ずや元の村に、いや、それ以上の村になると信じています。そのためにも、我々西原村消防団、常在戦場の心得で訓練を重ね、より地域に根ざした活動を続けていく所存です。

私たち受賞者一同、本日の受章を契機として、「郷土愛護」の精神のもと、それぞれの故郷を守るために益々精進していくことを固くお誓い申し上げ、謝辞とさせていただきます。

祝辞

公益財団法人 日本消防協会 会長 秋本 敏文



今日は、いろいろな内容のイベントですが、それぞれに充実した中身で、こういうような表彰式等を開催して頂きました消防庁の皆様にもまず御礼を申し上げたいと思います。先程、消防団員の方々の意見発表がございました。皆様がそれぞれ日頃お考えになっていること、そして実行しておられることを発表されましたが、本業のお仕事をお持ちのなかで、地域の皆さんの安全確保のためご尽力頂いているお姿には、ありがたいし、素晴らしいと思ひまして、全員表彰されるといいなと思ってしまいました。そういう素晴らしい内容でした。

そしてこれから表彰をお受けになる方々。災害発生の現場などで懸命な活動をされた消防団の方々に対する表彰が行われますが、いろいろな困難があるなかで、団員の皆さんが力を合わせて力一杯活動されたことに、まず何よりも感謝申し上げます。そして深く敬意を表します。本日はそのようなご活動が消防庁長官表彰という素晴らしい形で認められたものであり、心からお慶び申し上げます。

色々な災害等の経験を経て、3年前「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」という新しい法律を制定して頂き、消防団の重要性が法律にも明記されたのですが、その消防団の力の源は消防団員であり、団員の確保が最も基本的な大事な課題です。近年、被雇用者の増加などで、団員の確保

に大変苦勞しているのが実態なのですが、その中で、消防団協力事業所として、職員の方々が消防団に入団することにご理解を示して頂いている事業所の方々は、私どもにとりまして、誠にありがたい、貴重な方々であります。本日表示証をお受け取りになる皆様、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

東日本大震災から6年が経過しました。その前の大きな災害ですと、22年前に阪神淡路大震災がありました。そしてこの1年或いは数年を取りましても、本当に思いがけない災害が相次いでおります。私たちは、全国いつでも、どこでも、何でもある位の覚悟をしていなければならないように思われます。その中で、先程申しあげました新しい法律の趣旨に沿った地域防災力の強化は国民の皆さんすべてにとって益々大きな課題になっていると申し上げてよいかと存じます。本日表彰などをお受けになるご列席の皆さまにおかれまして、それぞれのお立場でこれからもご尽力頂きますようお願い申し上げます。表彰のご受章をお慶び申し上げますとともに、益々のご健勝、ご多幸、さらにはご活躍をお祈り申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。

祝辞

全国消防長会

会長 高橋 淳



平成28年度消防庁・消防団等表彰式並びに消防庁・消防団協力事業所表示証交付式にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。——本日、表彰の栄に浴されます皆様は、平素から地域防災力の向上に献身的に取り組まれている方々であり、これまでのご尽力・ご活躍に対し、敬意と感謝を申し上げますとともに、本日の受賞を心よりお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。消防団の皆様は、昨今の地震や水害、火災等の災害現場におきましても、多岐にわたる消防活動により、被害の軽減に努められ、地域住民から厚い信頼を得ているところでございます。先程行われました全国消防団員意見発表会におきましても、消防団員としての目標や、他の模範となる素晴らしい取り組みを拝聴し、その使命感や熱意に深く感銘致しました。消防団の皆様におかれましては、今後とも地域の防災リーダーとして、ますますご活躍されることを期待しております。また、消防団活動の重要性への深いご理解のもと、平素から様々なご支援を頂いております事業所の皆様には、改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、消防団協力事業所の認定を契機として、更に消防団の充実強化にご協力を賜りますようお願い申し上げます。全国消防長会と致しましても、地域住民がより安心して暮らせる社会の実現に向け、地域の防災リーダーである消防団員の皆様をはじめ

め、関係各位と緊密に連携し、各種施策を積極的に推進してまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様方のご健勝とご多幸、そして更なるご活躍をご祈念申し上げますお祝いの言葉とさせていただきます。

平成29年3月12日

全国消防長会 会長 高橋 淳

消防団等地域活動表彰

消防団等地域活動表彰

消防団表彰 24団体 事業所表彰 9事業所

掲載内容は、各団体から提供のあった原稿及び写真等に基づき作成

地域防災力の向上をめざし団員の 条例定数増員と女性分団設立を実現

北海道
胆振東部消防組合鶴川消防団

女性や事業所単位の入団促進に力を入れ、消防団が地域の中で果たす役割を理解していただいた結果「消防団に入団し貢献したい」と入団希望者が集まりはじめた。地域防災力の向上をめざし、住民への防火指導、防災減災イベントの開催、応急手当普及員の資格養成など势力的に実績を積み重ねたことにより団員の条例定数を100名から115名へ増員し体制を強化するとともに、新たに女性分団を設立し活動の幅を広げている。



地域住民に防災・減災に関心を持ってもらう目的で、団員が中心となり工夫を凝らしたイベント活動を行う

DATA

人口	5,847人
面積	164.88km ²
団員	定数115人
実数	111人(うち女性15人)

平成28年4月鶴川消防団女性分団設立を祝う式典で挨拶をする鶴川消防団長

伝統を守りながら新しい試みを取り入れ 地域に密着した消防団を目指す

岩手県
矢巾町消防団

消防団は平成27年度から機能別消防団員制度を導入し、団員の拡充を図りながら、各種講習会を開催し、訓練のみならず消防防災の知識の醸成を行っている。女性消防団は加入団員全てが応急手当普及員の資格を取得し、住民や他の消防団員へ講習を行っている。また、地域ごとに防災訓練や防災学習会を行うなどしており、平成28年には日本消防協会から防災学習・災害活動車両を交付され、地域の防災意識のさらなる高揚を図る。



防災訓練時の女性消防団員による応急手当講習

DATA

人口	27,678人
面積	67.32km ²
団員	定数380人
実数	314人(うち女性17人)

消防団出初式で分列行進を行う消防団員

婚活支援「ポンプ・コン」 ～法被でHappy！手広めによる赤い糸、一線延長～

山形県
飯豊町消防団

消防団の独身率は44.1％であり、少子高齢化が進む現在、今後の消防団活動において、組織の弱体化が危惧される状況である。

将来のパートナーを探す機会の少ない団員に対し、平成25年から消防団婚活支援「ポンプ・コン」を実施している。参加者には、アナウンサーを講師に男磨き講座を行っている。

平成27年度も、消防団員17名、女性19名の参加者で成功裏にポンプ・コンが終了した。今までめでたく1組のカップルが結婚に至った。



いよいよ「ポンプ・コン」がスタート！司会の進行に合わせて、まずは顔合わせ。

「ポンプ・コン」に参加し、カップル成立からご結婚されたご夫婦。めでたく2世も誕生、末永くお幸せに！

DATA

人口	7,304人
面積	329.41km ²
団員	定数450人
実数	414人(うち女性23人)

地域に寄り添った消防団活動

栃木県
高根沢町消防団

高根沢町消防団は地域に寄り添った消防団として活動し、8個分団が定期的に夜間巡回し受け持ち地域の火災予防に努めている。またどんど焼きやお祭りなど行事の警戒活動にも積極的に参加協力し地域に貢献している。

平成26年に発足した女性消防団員は、機能別団員として消防署と協力し住民への普通救命や応急手当の普及指導、独居の高齢者宅への防火診断などを行い男性団員では補えない分野で活躍している。



町主催の消防展にて参加者の子どもと一緒に消防腕用ポンプの実演をする消防団員。

DATA

人口	29,639人
面積	70.87km ²
団員	定数255人
実数	253人(うち女性19人)

中学校にて行われた応急手当講習にて生徒に止血法について指導をする女性消防団員。

住民にとって、 一番身近な地域防災の要としての消防団

群馬県
高山村消防団

高山村消防団は、毎年幼稚園・小学校・中学校の避難訓練に参加し、広域消防と共に若年層への予防消防の大事さを伝えている。また、山林火災の発生を防ぐために、入山者が多くなる4月末から始まる大型連休の時期に合わせて、消防車で広報しながら林道の巡回を行っている。

その他一般家庭に対しては、定期的に巡回し、予防消防への声掛けを行い地域に根ざした消防団を目標に日々活動している。



吾妻広域消防署員・駐在所長と共に地元幼稚園の避難訓練に参加している様子

出初式にて、団長を筆頭に団員が集結。新春を迎え改めて団員としての心構えを胸に刻む

DATA

人口	3,674人
面積	64.18km ²
団員	定数123人
実数	123人(うち女性0人)

幼年消防クラブでも防火啓発活動

群馬県
東吾妻町消防団

東吾妻町消防団では毎年、管内保育所で幼年消防クラブの任命式を行い、幼少期からの防火思想の普及と住民の防火意識への啓発に努めている。

任命式では団長より代表園児へ任命書を手渡しで交付、手づくりの纏を伝達し、絵図等を使いながら火災の恐ろしさを伝え、火遊びは絶対にしないよう説明するとともに、火災予防運動期間には揃いの法被を着用し、全員で「火の用心」と声をかけながら拍子木を打ち鳴らし園児自らが防火啓発活動を実施している。



揃いの法被を着用。拍子木打ちながら大きな声で「火の用心！」

副団長より代表園児へ手づくりの纏を伝達。纏を手にした園児は「絶対に火遊びはしません」とみんなの前で誓う。

DATA

人口	14,033人
面積	253.91km ²
団員	定数333人
実数	314人(うち女性0人)

女性消防団員による消防団PR活動

埼玉県
長瀬町消防団

当町消防団は、2つの分団が定期練習や自主防災組織との防災訓練など様々な機会を通して火災予防活動を行っている。

特に女性消防団員は、女性の持つソフトな面をいかして、毎年、商工会青年部が主催する「ふれあいフェスタ長瀬」で、消防団PRのブースにおいて、来場した子どもたちなどに水消火器を用いたの消火器の使用方法、特別点検及び成人式会場などにおいて、消防団員募集活動をするなど様々な火災予防啓発活動を展開している。



恒例行事である「出初式」後、成人式会場に移動して団員募集をしている。

特別点検会場で団員募集をしている女性消防団員。

DATA

人口	7,324人
面積	30.43km ²
団員	定数110人
実数	105人(うち女性4人)

鶴ヶ島市消防団女性団員の活躍について

埼玉県
鶴ヶ島市消防団 女性部

鶴ヶ島市消防団女性消防団員は、広報誌、ホームページに募集記事を掲載し、広く公募するとともに、介護施設、市役所、保育園、事業所等へ団員が直接伺い、入団促進を行った結果、現在6名入団し、鶴ヶ島市消防団女性部が発足した。

鶴ヶ島市消防団女性部については、災害現場や大規模災害時の救護業務に従事するとともに、普及啓発、防災訓練、消防訓練にも参加し活躍している。



鶴ヶ島市防災訓練にてAED取扱説明をする鶴ヶ島市消防団女性部。

鶴ヶ島市産業まつりで消防団員募集ブースを設け、団員募集啓発を実施。

DATA

人口	70,255人
面積	17.65km ²
団員	定数60人
実数	59人(うち女性6人)

地域住民と密着し 魅力ある消防団を目指して

埼玉県
富士見市消防団

富士見市消防団は、基本団員の士気の高揚に努めると共に昼間の火災等には、基本団員OBの機能別団員が住民の生命、財産を守っている。機能別団員は、社会環境の変化、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等から基本団員の確保が難しいなか、基本団員OBが立ち上がり、安心安全な地域づくりに向け、機能別消防団員制度を発足し、地域住民と密着し魅力ある消防団を目指している。



富士見市役所にて、富士見市消防団機能別消防団員制度発足式及び辞令交付式。

富士見市消防団機能別制度が発足し、平常時より火災発生の未然防止のため日夜努力することを心に誓う。

DATA

人口	108,104人
面積	19.77km ²
団員	定数129人
実数	103人(うち女性5人)

離島消防団の役割

東京都
式根島消防団

式根島は、東京の南約160kmに位置する小離島。人口約530人、周囲約12kmの島に消防署はなく、警察も1名が駐在するのみで、消防団は防火のみならず、防災、防犯、救命救助、行方不明者の捜索など、地域防災の要として地域住民の期待を一身に背負っている。周囲を海に囲まれた「離島」という環境から、有事の際に外部からの速やかな応援を受けることが困難なため、「自分たちの島は自分たちで守る」という強い意識と責任感のもと、日々活動している。



団員訓練の一例。崖の降下訓練の様子。

住民対象の消火器・消火栓の取り扱い訓練の様子。

DATA

人口	529人
面積	3.9km ²
団員	定数80人
実数	53人(うち女性0人)

定員を確保し、地域防災力を強化

東京都
豊島消防団

豊島消防団では、地域防災の要である消防団員を確保するため、管内の大学にて説明会を実施するとともに町会・自治会が行う防火防災訓練、祭礼に伴う消防特別警戒、各種イベント時に募集活動を行っている。また、ケーブルテレビや地域新聞、デジタルサイネージ等を活用して募集広報を展開した結果、学生団員の入団を始めとして定員確保を達成するなど、全団員が地域の安全安心を守るために活動し、地域防災力の強化に努めている。



学生団員の大幅増加により活性化した豊島区消防団合同点検

各種警戒時においても消防団員募集広報を実施

DATA

人口	148,006人
面積	6.83km ²
団員	定数220人
実数	220人(うち女性29人)

『あなたの力が必要です』 ～定員充足率100%に向けて～

神奈川県
横浜市旭消防団

旭消防団では、定員充足率100%に向け、地域、消防団、消防署が一丸となって消防団員募集活動に取り組んだ。その中でも重点的に行ったのが、過去に火災が発生した大規模団地において、消防団員確保プロジェクトを創設したことである。団地内にある10自治会を中心に、災害の恐怖、防災・減災への意識改革、消防団員の必要性を説いて団員募集を実施した。

また、その地域で開催される夏まつり等でも積極的に消防団PR活動を行い、大幅な増員を図った。



大規模団地の夏まつりで消防団員募集PR活動を行う女性消防団員

地域で応急手当指導を行う女性消防団員。旭消防団は県内最多110名の女性団員が活躍している。

DATA

人口	247,234人
面積	32.73km ²
団員	定数655人
実数	636人(うち女性110人)

女性分団「式部さくら分団」の創設

福井県
南越消防組合 越前市消防団

地域住民に対する防火・防災教育、応急手当の普及啓発、災害時における後方支援活動等において、女性ならではのきめ細やかでソフトな感性を生かした活動を実施するため、平成27年10月に女性分団「式部さくら分団」を創設。各火災予防運動では管内の駅前にて火災予防啓発活動を実施し、又教育活動として管内小学校で行われている「いのちの授業(救急講習)」に参加し、応急手当の普及啓発活動等を行っている。



組合総合防災訓練に参加し、越前市消防団の先陣切って分列行進を行った。

管内小学校で行われている救急講習「いのちの授業(救急講習)」に参加し、指導補助を行った。

DATA

人口	81,613人
面積	230.7km ²
団員	定数556人
実数	550人(うち女性30人)

地域に密着し、住民に信頼される消防団活動

長野県
御代田町消防団

防災訓練を通し地域住民、社会福祉施設、関係機関との連携のもと団員の招集、消火、避難誘導の訓練を実施している。災害活動に万全を期すためポンプ操法大会を開催し数カ月間に及ぶ訓練で厳正な規律及び技術練磨している。火災予防運動期間中の春は近隣消防団との協力により合同パレードを行い広域的な災害に対応できるよう回り、近年女性団員の増加により、広報活動を定期的に行い広く住民に火災予防の注意を喚起している。



平成29年御代田町消防出初式

日本で大きさが一番と言われ龍が舞う「信州御代田 龍神まつり」において演奏する御代田町消防団ラッパ隊と幹部。

DATA

人口	15,184人
面積	58.79km ²
団員	定数300人
実数	298人(うち女性8人)

地域の安心安全のための消防団活動

長野県
売木村消防団

毎年春と秋に全団員を対象とした訓練を実施しており、防火啓発のために各家庭を巡視して火の元の点検をしている。これにより、地域の安全安心に寄与している。規律訓練では、新入団員向けの基礎訓練を行い、消防団としての規律を習得している。この訓練を通じて、幹部と団員の意思疎通を図り団結と統制を図っている。さらに、ポンプ操法の技術習得のため、消防技術大会には積極的に出場しており、2ヶ月以上に及ぶ夜間訓練で消防技術を切磋琢磨している。



年2回、消防団の訓練を実施。放水訓練で、団員相互の連携を確認している。



出初め式では村内を行進して団員の志気を高め、地域とのつながりを深めている。

DATA

人口	575人
面積	43.43km ²
団員	定数50人
実数	38人(うち女性3人)

元気はつらつ女性消防団の活動 ～地域の安心安全に貢献したい～

岐阜県
可児市消防団

消防団組織の活性化を図るため平成26年12月に10人の女性団員を採用、平成28年には4人増員となった。初めは消防団行事の運営・参加、火災予防啓発が主な活動であったが、団員自ら案を出し活動を広げている。特に救急救命講習会での指導や、楽しく防災を学べる啓発活動などは好評を得ている。また、オリジナルの団員募集チラシの作成や成人式での呼びかけ、地元ケーブルテレビ出演等で団員確保や消防団の活動PRでも活躍している。



市主催の大型イベントで防災について学べるブースを出展(防災備品持ち出し品クイズ)



成人式での消防団PR活動にて

DATA

人口	98,695人
面積	87.57km ²
団員	定数343人
実数	330人(うち女性14人)

集え！未来の消防団員！

愛知県
稲沢市消防団

当市消防団では平成27年度から、市内の小学生に参加を募り、防火・防災に関連する種目で順位を競う“夏休み「わくわく・ドキドキ」消防競技会”を開催している。この事業は、子供の頃から地域防災に関する意識付けや消防団活動を身近に感じる機会を設けることで、進学や就職を機に消防団へ加入してもらうきっかけとなり、全国的な消防団員数減少が課題となっている昨今において、将来的な消防団員確保に繋がることを期待している。



平成28年度から新たに機能別消防団員として9人の女性消防団員を登用

競技種目の1つである「要救助者搬送リレー」猛暑にも負けず、参加者が笑顔で競技に取り組む姿勢がとても印象的だった

DATA

人口	136,867人
面積	79.35km ²
団員	定数310人
実数	310人(うち女性 9人)

若い世代に消防団の魅力を伝える「豊田市消防団 1 日体験入団」の取組み

愛知県
豊田市消防団

豊田市消防団は、若い世代の消防団への関心と理解を深めることで入団へとつなげる取組みとして、市内に在住又は通学する大学生などの若者を対象とした「消防団 1 日体験入団」を開催している。企画・運営を中京大学の学生、消防団、市が協力して行い、放水訓練や救出訓練を始め、消防団クイズ、消防団員とランチミーティング、訓練を活かしたゲームなどの学生目線で楽しく学べる体験プログラムを通して、若い世代に消防団の魅力を伝えている。



消防団員から救助資機材搭載型車両及び資機材の説明を受ける参加者

「豊田市消防団 1 日体験入団」の参加者、体験会を企画・運営した中京大学の学生、消防団員との記念写真

DATA

人口	422,542人
面積	918.32km ²
団員	定数2,313人
実数	2,054人(うち女性 29人)

歴史と歩み、 そして未来へ繋げる消防団活動

愛知県
知立市消防団

知立市消防団は重要文化財である知立神社多宝塔を守るため、祭事に事前放水や警備を実施。また、ユネスコに登録された山車文楽が奉納される知立祭りでは消防団員が祭りの若衆を兼任している者もいる。一方で、子供の職業体験ができる「ちりゅうこどもフェスティバル」に参加し、規律訓練、放水体験、防火衣試着等をしてもらうことで未来の消防団員確保につなげており、他にも各自主防災会の訓練参加等、地域に密着し将来を見据えた活動を実施している。



重要文化財「知立神社多宝塔」を手筒花火による延焼防止のため事前放水。



ちりゅうこどもフェスティバルで消防活動を子ども達に体験してもらい消防団PRを実施。

DATA

人口	70,501人
面積	16.31km ²
団員	定数172人
実数	171人(うち女性3人)

住みよい町多賀 災害の少ない町 多賀町消防団

滋賀県
多賀町消防団

多賀町消防団は、幹部を中心に各班で自主的に防火広報と防災パトロールを実施し、町民の防災意識の高揚に努めている。地域の防災訓練における水防訓練や、自警団、婦人消防隊の初期消火訓練の指導を行い、自主防災組織の育成指導に力をいれている。また、遠距離中継送水技術取得のため、彦根市消防本部犬上分署、犬上郡内の豊郷町消防団、甲良町消防団との合同訓練や、山岳遭難に備えた登山訓練を実施している。



文化財防火デーに伴う火災防御訓練



滋賀県消防操法訓練大会出場

DATA

人口	7,355人
面積	135.77km ²
団員	定数60人
実数	58人(うち女性0人)

安全・安心のまちづくりの主役として、 各種訓練、火災予防、消防団PR活動を展開

京都府
綾部市消防団

毎年及び隔年で各種訓練(新入団員、幹部、ポンプ操法、水防、機関員、運転技術、団長点検、烈風下実火災)を実施し、団員のレベルアップ、各分団の連携強化を図り、さらに住民と一体となって安全、安心のまちづくりを目指している。

予防活動では、幼稚園等で防火紙芝居、大型店舗前で防火チラシの配布等を実施している。

地元のラジオに団員が出演し、消防団の魅力を発信し新規入団に繋げるPR活動を実施している。



緊急自動車運転技術の向上を目的に、車両感覚を養う訓練や誘導の訓練を実施している。

幼少期から防火意識を向上させることを目的として、女性団員が作成した紙芝居を幼稚園等の子供達に見せている。

DATA

人口	33,835人
面積	347.10km ²
団員	定数960人
実数	874人(うち女性19人)

平均年齢36歳代の消防団が地域防災の要

岡山県
井原市消防団

井原市消防団では、各地域の特性を生かした避難訓練を地域住民と共に企画するなど、地域防災の要として、幅広い活動を展開している。

また、少子高齢化や災害の多様化など、消防団を取り巻く環境が厳しさを増す中、団員の確保を最優先の課題と捉え、これまでに機能別団員制度や女性消防団員制度を導入し、平成29年度からは、全国的に広がりを見せる「消防団応援の店」事業に取り組むなど、団員数の維持に努めている。



防災訓練での活動は地元ケーブルテレビにより放送され、消防団の理解促進につながる。

避難訓練では、地域の住民と協力して、高齢者、要支援者を避難所まで安全に誘導する。

DATA

人口	41,390人
面積	243.54km ²
団員	定数1,405人
実数	1,371人(うち女性12人)

『学園祭』等で若い世代の入団促進!! 併せて、住警器普及への協力!!

福岡県
北九州市小倉南消防団

小倉南消防団では、若い世代の入団促進のため、北九州市立大学の「学園祭」において、同大学の防災サークルの学生と協力して団員の募集を行い、5名の大学生団員が誕生した。

併せて、入団促進PRブースにおいてチャリティーバザーを行い、その収益で住宅用火災警報器96器を購入し、社会福祉協議会等の協力を得て、区内の住宅用火災警報器未設置のひとり暮らし高齢者宅に設置した。



学園祭に入団促進PRブースを設置し、同大学の防災関連サークルの学生と入団募集

住宅用火災警報器を社会福祉協議会の協力を得て、ひとり暮らしの高齢者宅に設置

DATA

人口	212,850人
面積	171.74km ²
団員	定数452人
実数	440人(うち女性25人)

沖縄県総合防災訓練による 住民及び消防団の防災意識向上

沖縄県
竹富町消防団

竹富町消防団は7つの有人島に14の分団で構成している。消防非常備町であり、火災、救急、救助、捜索などの業務を消防団が担っている。平成28年9月に初めて沖縄県総合防災訓練を実施し、自衛隊・消防機関と連携した消防訓練が行われた。また、住民避難訓練では町内21ヶ所において町人口約4,000名のうち約1,000名が訓練に参加した。



チェーンソーを使用し、倒壊した家屋に埋もれた傷病者を救出する倒壊家屋救出救助訓練

消防隊が到着するまでの間、土砂に埋もれた傷病者を救出する土砂埋没救出救助訓練

DATA

人口	3,995人
面積	334.39km ²
団員	定数159人
実数	152人(うち女性1人)

会社全体で地域防災に貢献

北海道
大同産業開発株式会社

本事業所は、消防団活動の重要性を理解し、事業所の就業規則とは別に「消防団活動に対する援助規定」を定めており、消防団に所属している従業員が災害や消防団行事等の出動に専念できる体制が整えられている。また、業種柄山間部の作業現場を保有し道路維持作業も行うことから、会社所有の道路巡回車と現場作業車にAEDを搭載、社員に対して定期的な普通救命講習を実施するなど会社全体が高い防災意識を有しており、地域防災力の向上に大きく寄与している。



遠軽町消防団所属である本事業所の従業員が事業所の車載AEDを点検する様子。



DATA

所在地	北海道遠軽町
人口	21,079人
面積	1,332.32km ²
業種	建設業
従業員	41人
うち団員	7人
遠軽町消防団	277人(うち女性53人)

地域へ感謝 ～相互扶助の精神で防災に貢献

宮城県
株式会社宮城衛生環境公社

弊社では、明るい衛生環境づくりをモットーに、主に家庭ごみ、事業所ごみの収集、浄化槽維持管理及びビル管理等の生活に欠かせない地域に密着した様々な業務活動を行っており、そのため地域住民の方々にも安心して生活して頂ける様消防団活動を推進し、防災活動を円滑に行えるよう努めている。

消防団社員には、消火訓練・消防操法・救命講習の訓練等に積極的に参加できるよう体制を整え、勤務中・祝祭日・休日にかかわらず出勤扱いとして、職場全体で協力体制を整えている。



消防団員の社員集合写真



DATA

所在地	宮城県仙台市
人口	68,009人
面積	262km ²
業種	一般・産業廃棄物収集運搬業
従業員	134人
うち団員	17人
仙台市宮城消防団	12人(うち女性0人)
仙台市太白消防団	3人(うち女性0人)
仙台市秋保消防団	2人(うち女性0人)

地球環境保護に向け、 廃棄物再資源化の推進と、地域社会に貢献！

栃木県
株式会社日環

昭和52年の設立以降、廃棄物の収集・運搬・積替保管及び中間処理を適正かつ効率的に行うとともに、再資源化を推進し、クリーンな地球環境作りのために精進している。団員に対しては勤務時間中の消防団員としての出勤を認め、出勤における不在時間については、賃金や手当での削減をしないなど、従業員の消防団活動について積極的に配慮がなされている。

また、活動しやすい環境整備に積極的に取り組んでおり、より幅の広い団員活動への支援や地域密着型の企業として防災活動や奉仕活動など、地域の安全・安心に大きく貢献している。



出水期にあたり、団員の士気の高揚、作業能力・技術及び災害対応力の向上を図るため、毎年実施される市水防訓練。

DATA

所在地	栃木県宇都宮市
人口	511,739人
面積	416.85km ²
業種	一般・産業・特別管理産業廃棄物収集・ 運搬・積替保管及び産業廃棄物中間処理業
従業員	55人
うち団員	7人
宇都宮市消防団	6人(うち女性0人)
壬生町消防団	1人(うち女性0人)

地域の防災・減災と消防団員の 活動能力の向上をめざして！

東京都
株式会社植米苑

代表取締役は、第七分団長として活動しており、消防団活動の重要性を深く認識し、事業所団員の入団促進を積極的に行い、従業員の半数以上が消防団員である。また、勤務中であっても災害発生時には速やかに出場できるように配慮している。消防団行事(始式、操法大会、合同点検等)のほか住民への防火防災訓練指導、祭礼や地域行事における消防特別警戒、訓練・演習等を考慮し、作業スケジュールを調整して従業員を積極的に参加させ、必要な知識技術の習得に努めさせるとともに、地域の安全安心に貢献している。



荻窪消防団操法大会において、事業所団員が1番員として参加している。

DATA

所在地	東京都杉並区
人口	528,587人
面積	34.02km ²
業種	造園・土木・設計・施工管理
従業員	8人
うち団員	5人
荻窪消防団	5人(うち女性0人)

地域に根付いた消防団活動への協力

新潟県
株式会社小出建設

当事業所は、消防団活動に理解を示しており、地域に根ざした活動を行っている。消防団活動においては、火災・水防・捜索等の出動について、就業規則等の規定はないが就業時間中でも積極的に参加させており、ボランティア休暇として年次有給休暇を与え、消防団員への配慮を行っている。また、災害発生時には会社で所有する資器材の提供を行えるようにしており、減災に協力できる体制を整えている。



DATA

所在地	新潟県新発田市
人口	101,202人
面積	532.82km ²
業種	建設業
従業員	12人
うち団員	5人
新発田市消防団	4人(うち女性0人)
胎内市消防団	1人(うち女性0人)



水害で道路に土砂流出した際、土砂除去を行った。

消防団活動を積極的に支援し「安心・安全な住みよいまちづくり」に貢献

長野県
中野土建株式会社

建設業という職種を活かし、災害発生時には事業所が保有する各種資機材などを消防団に提供するとともに在籍する消防団員がオペレータとして連携する体制を構築し、消防団の活動支援及び地域防災力の向上に寄与している。在籍する消防団員には、業務中であっても消防団活動を優先して出場できるように配慮し、処遇についても勤務日として賃金の支給対象とするなど、消防団活動への積極的な参加を推進している。また事業所全体の防災意識が高く、積極的に消防団への加入を促進している。



災害発生時には、各種資器材とともに、オペレータも提供できる体制を構築している。

DATA

所在地	長野県中野市
人口	45,638人
面積	112.06km ²
業種	建設業
従業員	81人
うち団員	12人
中野市消防団	5人(うち女性0人)
山ノ内町消防団	2人(うち女性0人)
飯山市消防団	3人(うち女性0人)
飯綱町消防団	2人(うち女性0人)

地域に根差し、 積極的な消防団活動に貢献

京都府
社会福祉法人京都福祉サービス協会
高齢者福祉施設西七条

施設長自らが消防団に入団するなど、消防団活動に積極的に協力しており、勤務時間中における災害現場出動に加え、火災予防活動及び消防・防災訓練等にも、従業員の勤務時間等を調整し、参加を可能としている。

また、施設従業員のみならず、事業所の来所者等にも団員募集を積極的に呼びかけるなど、消防団への加入促進に尽力するとともに、消防団に所属する施設従業員が、消防団活動の一環として、通所している高齢者を対象とした防火防災の啓発活動にも取り組んでいる。



応急手当普及員の資格を活かして、地域行事で参加者に対して応急手当の指導を行っている。

DATA

所在地	京都府京都市(下京区)
人口	82,859人
面積	6.82km ²
業種	老人福祉・介護事業
従業員	63人
うち団員	8人
京都市下京消防団	8人(うち女性3人)

消防団活動を積極的に支援し、 地域防災に貢献

山口県
あぶらんど萩農業協同組合

市内及び阿武町に支所があり、本所を中心に各支所に複数の従業員が在籍している。また、勤務者が有事等の際には地域での消防団活動に優先的に向かえるよう出動等に対する配慮がなされている。

平成25年7月28日に萩市・阿武町・山口市を襲った豪雨災害では、水防活動や避難誘導、行方不明捜索など消防団員活動を積極的に支援した。また、地域の片づけや被災者支援等で多くの職員が参加されるなど、地域への支援活動を積極的に行った。

また、実例は無いものの、有事の際には事業所の資機材等の提供を可能としている。



平成25年7月28日に発生した豪雨災害での水防活動

DATA

所在地	山口県萩市
人口	53,747人
面積	698.79km ²
業種	総合農協
従業員	314人
うち団員	77人
萩市消防団	66人(うち女性0人)
阿武町消防団	11人(うち女性0人)

高い防災意識を持ち、消防団、地域と連携し、安心・安全を目指す

愛媛県
波方ターミナル株式会社

日常的に危険物を取り扱う事業所として、高い防火・防災意識を持ち業務に従事しているとともに、火災・災害発生時には勤務時間内でも消防団活動を優先するように配慮している。

当事業所の就業規則に消防団員等の活動時に関する具体的な規定は設けてないが、始業前の災害出勤により出勤が遅れる場合でも、消防団員から報告を上げてもらうことで、出勤として取り扱うなど、消防団の活動により消防団員が不利益となることがないようにしている。



事業所外観写真と事業所航空写真

DATA

所在地	愛媛県今治市
人口	166,532人
面積	419.89km ²
業種	サービス業
従業員	58人
うち団員	10人
今治市消防団	10人(うち女性0人)

平成28年度 消防庁消防団協力事業所 表示証交付事業所

消防庁消防団協力事業所表示証交付事業所

掲載内容は、各団体から提供のあった原稿及び写真等に基づき作成

北国の明日の幸せのために 安全・安心なまちづくりを応援します

北海道
中定建設工業株式会社

道路維持管理事業を通じて地域社会を支える業務に長年携わっており、その地域貢献の一環として従業員が消防団活動に参加することを会社としてバックアップしている。勤務時間内に災害出動要請があった場合にも柔軟に対応できるよう、職場環境の整備に努めているほか、会社行事として救命講習会を開催し、応急救護技術の習得を推奨するとともに、行事を通じて消防団活動に興味を持った従業員には消防団への入団を後押しするなど、職場全体で地域の防災力向上に貢献している。



従業員の救命講習受講風景



DATA

所在地	北海道札幌市
業種	建設業
従業員	57人
うち団員	6人
札幌市南消防団	6人

地域防災に積極的に協力する事業所

北海道
厚田産業株式会社

常日頃から地域防災力の中核を担う消防団の重要性を深く認識し、消防団活動へ積極的に協力している。また、消防防災体制の充実強化に寄与し、防災力の向上に貢献していることから、会社に対する地域住民の信頼はとても厚い。さらに、従業員の消防団活動への参加に対しても会社全体でサポートし、消防団員が活動しやすい職場環境を整備するなど、消防団員への配慮も行なっている。



平成29年石狩消防出初式の様子



DATA

所在地	北海道石狩市
業種	建設業
従業員	32人
うち団員	5人
石狩消防団	5人

消防団活動へ深い理解と協力

北海道
株式会社沢田建設工業

常日頃から地域防災力の中核を担う消防団の重要性を深く認識し、消防団活動へ積極的に協力している。また、消防防災体制の充実強化に寄与し、防災力の向上に貢献していることから、会社に対する地域住民の信頼はとても厚い。さらに、従業員の消防団活動への参加に対しても会社全体でサポートし、消防団員が活動しやすい職場環境を整備するなど、消防団員への配慮も行なっている。



小型ポンプ操作訓練の様子



DATA

所在地	北海道石狩市
業種	建設業
従業員	25人
うち団員	5人
石狩消防団	5人

地域の安全第一 地元愛に満ちた地域貢献する会社

北海道
有限会社丸重清川

本事業所は、消防活動の重要性を理解し従業員が消防団員への入団がしやすい環境を整え、消防団活動への便宜や入団促進など、事業所として消防団への協力を積極的に取組み、現在5名の消防団員が在籍している。

災害出動等においても速やかな出動に配慮され、消防団行事の参加においても協力を惜まず、最近では平成27年度に開催された消防操法大会の出場隊員として社業をもちながら数ヶ月にわたり2名の出場を了承しており、消防団活動等に貢献する会社である。



平成27年7月8日開催：北海道消防協会胆振地方支部消防操法大会の出場写真（2番員及び4番員が丸重清川の社員）



DATA

所在地	北海道勇払郡むかわ町
業種	建設業
従業員	20人
うち団員	5人
胆振東部消防組合 穂別消防団	5人（うち女性0人）

事業所と地域消防団活動の密接な関係を強化します

北海道
社会福祉法人愛誠会

本事業所は、社会福祉法人という特殊業務の中で就業規則等では定めていない中で、積極的に消防団への入団について配慮されており、災害等で出動があった場合には、従業員間で協力し消防団員が出動できるような体制がなされている。

また、年間行事においても出初式を始め多岐にわたる活動を支援し、具体的には消防演習の訓練場所の提供により、事業所内の避難訓練を兼ねて実施し消防活動との連携も構築されており、消防防災体制の充実に貢献している。



愛誠会の施設「愛誠園」で実施された穂別消防署団合同消防演習の様子



DATA

所在地	北海道勇払郡むかわ町
業種	社会福祉事業
従業員	149人
うち団員	12人
胆振東部消防組合穂別消防団	12人(うち女性1人)

これからも消防団活動を支援し、地域住民の安全安心を守ります。

北海道
協同組合ウッディハウスおけと

設立当初より消防団活動の重要性を深く認識し、災害活動など緊急時に対する従業員の出動体制を構築しており、地域防災に貢献している。また、災害発生時には、会社所有の建設機械の提供をしているなど、消防団活動に協力的な事業所である。平成20年度から北見地区消防組合消防団協力事業所に認定されており、従業員数の少ない中でも入団促進に努めるなど、消防団の充実強化に貢献し、他の模範となる事業所である。



置戸消防団消防演習での模擬火災訓練の様子。消防精神の高揚と技術の錬磨、指揮統率・命令の徹底を目的として実施。



DATA

所在地	北海道常呂郡置戸町
業種	製造業
従業員	11人
うち団員	5人
北見地区消防組合置戸消防団	5人

地域に根ざす職場として、 消防団活動を通じ地域に貢献します。

北海道
札幌農業協同組合

本事業所は地域住民に「信頼」「利用」「満足」される経営理念の基、地域に根差した組織として地域貢献活動を展開し、長年にわたり職員の消防団加入を勧め、現在は6名が消防団員として活動している。また、就業時間の消防団活動についても公の職務に準じ取り扱い、活動に支障がない体制を構築している。平成21年10月には幕別町の消防団協力事業所として認定され地域の消防防災体制に寄与している。



幕別町消防団出初式への参加

DATA

所在地	北海道幕別町
業種	サービス業
従業員	51人
うち団員	6人
幕別町消防団	6人(うち女性0人)

地域の皆様のおかげで本社は創業50年を迎えました 次の50年の為、地域の安心と安全を創る消防団活動支援を目指す

北海道
株式会社トヨタレンタリース釧路

本事業所は、地域・地場企業に沿った地元事業所として、消防団活動へ積極的に参加、協力し、地域貢献に尽力している。また、防災活動においては、地域住民の方々に、一声おかけすることや地域の見守りを行い、地域に密着した活動に努めている。社内をはじめ消防団員全員で地域の消防防災力の充実強化を目指している。



真剣な眼差しで、訓練説明を受ける消防団員

DATA

所在地	北海道釧路市
業種	レンタカー・カーリース
従業員	55人
うち団員	6人
釧路市消防団	6人

消防団活動を通し、 「地域に根ざした信頼される企業」へ。

岩手県
株式会社三ツ矢建設工業

当社は、従業員が消防団員として多数在籍しており、消防団活動を理解し、消防団員の入団促進に協力している。

また、勤務中に地域で火災等が発生した場合には、積極的に出場することを認めており、災害時に事業所の資機材等を消防団へ提供する協定を一関市と締結するなど、消防団活動への積極的な活動支援を行っている。

「地域に根ざした信頼される企業」を目指すところとしており、消防団活動を通しこれを体現している。



現場での安全訓練



DATA

所在地	岩手県一関市
業種	建設業
従業員	31人
うち団員	7人
一関市消防団	7人(うち女性0人)

「すべては安全のために」をモットーに 地域に貢献します

岩手県
株式会社シンコーロードサービス

当社は、従業員19名のうち6名が一関市消防団に入団しており、就業中に出勤命令があった場合、直ちに消防活動に従事することを奨励し、消防団活動を最優先している。

災害時に資機材等を消防団に提供するなど協力しており、過去には、大雨による土砂災害において、道路の倒木撤去作業や土砂除去作業にパワーショベル等を提供し、消防団と協力して災害拡大防止活動に貢献している。

また、東日本大震災の際は、率先して老人福祉施設へ発電機等を貸出し地域へ貢献している。



職員研修の一環で防災講習会を開催



DATA

所在地	岩手県一関市
業種	建設業
従業員	19人
うち団員	6人
一関市消防団	6人(うち女性0人)

重機のようなパワーで地域を牽引します

岩手県
株式会社山友建設

当社は、従業員数50名のうち5名が一関市消防団に入団しており、就業中に出勤命令があった場合、直ちに消防活動に従事することを奨励し、消防団活動を最優先している。

また、加盟する(社)岩手県建設業協会千厩支部は、災害時の市内インフラ等の被害情報の収集・連絡、人員確保、資機材の調達及び応急復旧等にあたる「災害時における応急対策等の活動に関する協定」を一関市と締結している。



消防団員を中心とした消火訓練の様子



DATA

所在地	岩手県一関市
業種	建設業
従業員	50人
うち団員	5人
一関市消防団	5人(うち女性0人)

地元に根差し、 消防団活動に貢献する企業

岩手県
株式会社須藤食品

当社は、社員の消防団員が勤務時間内の消防団活動へ参加することを優先し勤務扱いとしている。また、平成26年4月に当社の近隣で発生した林野火災では、当社が所有する小型動力ポンプを活用し、消防活動に協力し延焼防止に貢献した実績があり、有事の際の出場体制を確保している。さらに、当社を含む市内5社で構成されている「いわいの里クオリティフードグループ」は、震災時等において市民生活の早期安定を図ることを目的に、応急給食、食材の調達及び災害情報の提供について一関市と災害応援協定を締結しており、社内をはじめ地域の消防防災体制充実に一層の貢献を果たしている。



DATA

所在地	岩手県一関市
業種	こんにゃく製造
従業員	45人
うち団員	6人
仙台市太白消防団	6人(うち女性0人)

「安心」という礎を築きます

岩手県
青柳建設株式会社

当社の従業員数36名のうち6名が一関市消防団に入団しており、就業中に出勤命令があった場合、直ちに消防活動に従事することを奨励し、消防団活動を最優先している。

また、災害時に資機材等を消防団に提供するなど協力をしており、過去の災害では、一関市大東町摺沢字長者地内の林野火災においてバックホー車を提供し物置小屋を崩す等、延焼防止の協力をしている。



消防団員が中心となった災害対策検討会の様子



DATA

所在地	岩手県一関市
業種	建設業
従業員	36人
うち団員	6人
一関市消防団	6人(うち女性0人)

社会に信用される価値づくりの為に行動し 豊かな社会構築に貢献しよう

岩手県
大森工業株式会社

当社は、従業員56名中6名が入団しており、消防団員が活動しやすい職場環境を整備し、従業員へ消防団への入団に力を入れている。

また、勤務中における出勤実績は延べ9回あり、災害が発生した際に従業員を勤務地から災害現場へ出勤させるなど、消防防災活動に対して積極的に協力している。

地域防災の中核を担う消防団員の役割を理解し、地域住民の安心・安全な生活を守ることに努めている。



会社近くの屯所にある消防団車両の前で。左から3番目が一関市消防団長、2番目が地元第2分団第6部長を努めている。



DATA

所在地	岩手県一関市
業種	建設業
従業員	50人
うち団員	6人
一関市消防団	6人(うち女性0人)

消防団活動を支援し 地域の安全に協力する会社

岩手県
株式会社ウツティかわい

地域に密着した企業として地域の安心、安全を願っているため、緊急時等の災害出動は活動を最優先とし、事後報告により認め、会社に勤務する団員が災害現場で活動できる態勢を職場全体で整備している。定められた消防団活動については本人の申し出等により、社長の了解の下に積極的に参加させている。また、平成27年度宮古市消防団第8方面隊が実施した火災防御訓練時には敷地を貸出す等協力している。



株式会社ウツティかわい敷地
内で実施した火災防御訓練

DATA

所在地	岩手県宮古市
業種	製造業
従業員	110人
うち団員	20人
宮古市消防団	20人(うち女性0人)

消防団活動への協力で地域貢献

宮城県
久我建設株式会社

本事業所には、現在5名の石巻市消防団員が在籍している。事業所全体で消防団活動の重要性を理解し、サポート体制の充実強化に努めている。災害等で出動した際には出勤扱いとして対応するなど、速やかな出動が可能な組織体制の確立及び仕事と消防団活動が両立しやすい環境づくりを整えている。また、平成22年から石巻市消防団協力事業所に認定され、消防団活動のみならず、地域密着型事業所として地域防災体制の充実強化に貢献している。



DATA

所在地	宮城県石巻市
業種	建設業
従業員	46人
うち団員	5人
石巻市消防団	5人(うち女性0人)

安心・安全なまちづくりを目指して、 消防団活動を支援します！

宮城県
株式会社藤山工務店

本事業所は、災害発生時に消防団員が勤務時間中にも優先的に出動できる態勢とし、勤務時間内での消防団員の出動がかかった場合は、消防活動の参加を有給扱いとし、優先して消防団任務にあたらせている。また、災害時には、会社で保有している各種機材を提供する体制を取るとともに、重機等を操作する資格・免許を有する社員も消防団員として入団しており、職場をあげて地域の消防防災力の充実強化に努めている。



海岸近くの現場で、津波を想定した高台への避難訓練の実施

DATA

所在地	宮城県大崎市
業種	建設業
従業員	30人
うち団員	5人
大崎市消防団	5人

「消防団活動」と「地域防災活動」の支援 地域社会に貢献できる企業

山形県
株式会社新庄・鈴木・柴田組

地域社会に貢献できる企業として、消防団活動・地域防災活動に積極的に取り組み易い社内環境を整え、就業時間内における火災などの発生時の出動や操法大会などの消防団活動に参加しやすいように支援を行っている。また近年、消防団員の高齢化に伴う退団者の増加や若年層の消防団員が減少している現状から、当事業所では、新入社員や若手社員に入団促進を行ない消防団活動に貢献している。



新入社員・若手社員の消防団への入団促進

DATA

所在地	山形県新庄市
業種	建設業
従業員	176人
うち団員	26人
新庄市消防団	10人(うち女性0人)
戸沢村消防団	4人(うち女性0人)
真室川町消防団	3人(うち女性0人)
最上町消防団	1人(うち女性0人)
鮭川村消防団	4人(うち女性0人)
金山町消防団	3人(うち女性0人)
舟形町消防団	1人(うち女性0人)

“地域と共に生きる” 消防団活動を支援し地域の安全安心に貢献

福島県
佐久間建設工業株式会社

地域における消防団活動の重要性を理解し、地域貢献の一環として、消防団に所属する従業員に出動要請があった場合は、勤務中における出動を認め、その間は勤務扱いとしている。また、大規模火災や災害時に要請があれば、保有する重機等の使用を認め、事態の早期解決に協力する。平成22年には三島町消防団協力事業所として認定され、地域の消防防災体制の充実により、住民の安全安心の実現に積極的に貢献している。



社員集合写真



DATA

所在地	福島県大沼郡三島町		
業種	建設業		
従業員	54人		
うち団員	14人		
三島町消防団	6人(うち女性0人)	柳津町消防団	4人(うち女性0人)
金山町消防団	2人(うち女性0人)	会津若松市消防団	1人(うち女性0人)
喜多方市消防団	1人(うち女性0人)		

地域に密着し 消防団活動に対し積極的に協力している事業所

栃木県
株式会社阿部工務店

消防団活動の重要性を理解し、消防団員の確保に積極的に取り組み、現在、従業員のうち5名が日光市栗山消防団に在籍している。

勤務時間中に災害等が発生した場合、団員が速やかに出動できるよう職場環境を整え、消防団の通常点検等の各種行事の際にも、参加に対し多大なる配慮をしている。

また、災害発生時には事業所所有の重機・資機材を率先して提供するなど地域の消防防災体制の充実強化に一層の貢献を果たしている。



従業員が在籍している消防団
による一斉放水の様子



DATA

所在地	栃木県日光市		
業種	建設業		
従業員	12人		
うち団員	5人		
日光市栗山消防団	5人(うち女性0人)		

飲む幸せをお客様へお届けし、 地域の防災力に貢献している会社

東京都
株式会社八洋

地域密着企業として地元感謝の気持ちを込めて消防団・防災活動に積極的に取り組んでいる。また、震災など大規模な災害が発生した場合、地域のお客様のお役に立てるよう、飲料水を常時備蓄し供給できる体制を整えている。消防団始式等の消防団関係行事に参画するとともに、事業所の訓練において、消防団活動により習得した知識、技術を活用し、災害時における活動要領を指導するなどし、地域防災力の向上に努めている。



DATA

所在地	東京都新宿区
業種	小売業
従業員	78人(本社)
うち団員	9人
牛込消防団	9人(うち女性2人)

地域への社会貢献として 消防団活動を積極的に支援

神奈川県
社会福祉法人湘南アフタケア協会

日頃から地域と良好な関係を保ち、消防団活動への理解も高い当該事業所は、現在5名の従業員が地元消防団に、2名の従業員が近隣市の消防団に入団している。事業所は消防団詰所から、徒歩1分程度の場所に位置しており、ひとたび災害が発生すれば、業務扱いとしてすぐに事業所の団員が駆けつける事が可能であり、即戦力として期待されている。

また、災害活動だけでなく、地元で開催される防災訓練指導にも消防団員として参加しており、ハード面ソフト面共に地域防災力の向上に貢献している。



DATA

所在地	神奈川県横須賀市
業種	福祉施設
従業員	34人
うち団員	7人
横須賀市消防団	5人(うち女性0人)
鎌倉市消防団	2人(うち女性0人)

詰所の前にて事業所消防団員4名と地元消防団員2名が集合

地域に感謝し 消防団活動を支援します

新潟県
山崎工業株式会社

社会奉仕の一つである消防団活動と社業との両立ができる体制を整えている。

勤務時間内に消防団員としての出勤要請があった場合は、優先して消防団任務にあたらせている。また、消防団活動の重要性を理解し、団員確保に積極的に取り組んでいる。中越地震と中越沖地震を経験したことにより、災害発生時は多くのマンパワーと、資機材が必要となることから、要請があれば会社所有の発電機や工具等を貸し出すこととしており、地域のために自社としてできることは積極的に行うこととしている。



消防団所属社員による避難訓練時の警報設備の説明



DATA

所在地	新潟県柏崎市
業種	金属加工業
従業員	140人
うち団員	16人
柏崎市消防団	12人(うち女性1人)
刈羽村消防団	3人(うち女性0人)
長岡市消防団	1人(うち女性0人)

地元と共に安全・安心な社会、 人・子供と高齢者を大切に

新潟県
有限会社共同土建

建設業協会を通して市と災害応援協定を締結しており、災害時には資機材の提供などの支援を行うこととしている。また、災害時はもとより、ポンプ操法訓練などにも消防団員が参加しやすい環境づくりを心掛けている。

当社としても、若手従業員が消防団活動によって地域にとけ込み、社会の規律を学ぶこともできるため、社員教育として大いに助かっている。消火活動、行方不明者の搜索などで急遽出勤することもあるが、命の大切さ、物を大切にする心を団員と共に感じ合い、共に学び、成長していく企業を目指している。



消防団員の集合写真



DATA

所在地	新潟県村上市
業種	建設業
従業員	16人
うち団員	5人
村上市消防団	5人(うち女性0人)

地域社会も現場も安全第一 消防団活動の支援に努めます

新潟県
株式会社山嘉土建

本事業所は、従業員の消防団活動を円滑に行うため日頃より災害を想定した、現場の班体制を整えており、就業中の出勤要請に対して迅速に対応できる体制と準備を整え、なおかつ、消防団員の勤務時間内における出勤は、勤務扱いとして消防団活動を支援している。また、災害発生時には、新潟県の建設業協会々員として全社を挙げて、資材・機材・労働力を提供して災害の早期復旧に取り組んでいる。



災害発生時の出勤体制と連絡体制の再確認



DATA

所在地	新潟県村上市
業種	建設業
従業員	17人
うち団員	5人
村上市消防団	5人(うち女性0人)

70余年の実績、成長、感謝、そして未来へ

新潟県
小畑工業株式会社

消防団活動の重要性を理解し、地元事業所として消防団の確保に積極的に取り組み、現在6名の消防団員が在籍している。

火災などの災害発生時には、就業中であっても欠勤とせず、有給休暇とする配慮がなされ、速やかな出勤が可能な組織体制をとっている。

平成24年度には糸魚川市消防団協力事業所として認定され、社内をはじめ地域の消防防災体制充実に一層の貢献を果たしている。



消防団員による火災を想定した図上訓練



DATA

所在地	新潟県糸魚川市
業種	建設業
従業員	40人
うち団員	6人
糸魚川市消防団	6人

広く社会に貢献する企業を目指します

新潟県
田辺商事株式会社

消防団活動に積極的に参加している上位階級団員は事業所内の他団員の模範となっており、団員数もここ数年一定数が確保されている。

平成24年度には糸魚川市消防団協力事業所として認定され、災害等発生時の出動に際しては、有給休暇として扱うなど職場全体で消防団活動に対する協力体制が整備され、地域はもとより、職場内の消防防災体制充実に一層の貢献を果たしている。



一斉放水訓練の様子

DATA

所在地	新潟県糸魚川市
業種	建設資材卸売業
従業員	51人
うち団員	7人
糸魚川市消防団	7人

在職消防団員の職場環境を整備し 地域防災に貢献します

新潟県
株式会社クオンテック

本事業所は、平成25年から南魚沼市消防団協力事業所に認定されており、日頃から従業員には地域防災力の要である消防団の重要性を理解させ、積極的に消防団活動に協力するよう意識づけをしている。また、勤務中の災害発生時における消防団員の出動に際しては、可能な限り迅速に出動できるよう職場環境を整備している。消防団活動に対しての理解や協力体制を高めることにより、消防団と連携のとれた関係を構築している。



地元地域の道路整備を実施

DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	建設業
従業員	25人
うち団員	5人
南魚沼市消防団	5人

消防団活動を支援し 迅速な災害対応に協力します

新潟県
株式会社トピアホーム

勤務中に災害等があり消防団員に対して出動要請があった場合は、優先して出動できるよう職場環境を整えている。また、災害発生時には本事業所の工事用車両を積極的に提供し、小型ポンプをはじめとする消防団資器材の運搬などに協力することで、消防団活動に大きく貢献している。また、地域密着型の事業所として消防団員確保にも積極的に協力し、現在8名の消防団員が在職しており、仕事と消防団の両面で活躍している。



災害時には事業所の工事用車両を積極的に貸し出している



DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	建設業
従業員	18人
うち団員	8人
南魚沼市消防団	8人

従業員全員で力を合わせ 消防団員の活動を応援します

新潟県
ヤマト設備

従業員の消防団活動を積極的に推進し、業務中に災害が発生した場合には他の従業員を補充するなどして、消防団員が出動できるように対応している。その際の出動に関しては通常と同じ勤務扱いとしている。また、災害時には本事業所の重機やダンプ等の車両のほか、砂、砂利などの資材を積極的に提供している。さらに、地元地域にある消火栓等の冬季における除雪を実施するなど、有事に備えた水利管理に努めている。



勤務する消防団員が参加する消防演習の様子



DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	管工事業
従業員	10人
うち団員	5人
南魚沼市消防団	5人

消防団の重要性を認識し 職場全体でサポートします

新潟県
株式会社五十沢板金工業

地元地域内で災害が発生した場合には、事業所で所有している照明器具等の資器材を積極的に提供することで、消防団の災害活動に大きく貢献している。また、日頃から従業員に対して消防団活動の重要性を認識させ、職場全体で消防団をサポートできる体制を構築している。さらに、業務中における災害発生時の消防団員への出動要請に際しても、優先して出動できるよう職場環境を整備している。



災害発生時には事業所の資器材を積極的に貸し出している

DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	建設業
従業員	14人
うち団員	6人
南魚沼市消防団	6人

消防団と協力し 地域防災力向上に貢献します

新潟県
株式会社割田組

就業中に火災などの災害が発生し、消防団に所属する従業員に対して出動要請があった場合には、所属する担当地区への出動を許可している。また、地元地域での災害発生時には本事業所が所有する資器材や重機を積極的に貸し出すほか、オペレーターをはじめとする従業員を派遣することで、人員面においても災害現場活動の円滑化に大きく寄与している。従業員に対しては緊急時の出動に備え、日頃から災害に対する強い意識づけを行っている。



災害時には事業所の車両や重機を積極的に貸し出している

DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	建設業
従業員	25人
うち団員	5人
南魚沼市消防団	5人

消防団活動に配慮し 地域防災力強化につなげます

新潟県
北越急行株式会社

勤務中の災害発生時における消防団員への出動要請があった場合や、演習等の消防団行事が開催される場合には、事業運営に支障のない範囲で参加を認め、消防団活動への配慮に取り組んでいる。また、本事業所には現在5つの地域の消防団員が在職していることで、事業所全体で消防団員をバックアップできる教育および雰囲気作りがなされており、各地域の消防防災体制の充実強化に大きく貢献している。



勤務する消防団員による初期消火訓練の様子



DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	鉄道業
従業員	65人
うち団員	19人
南魚沼市消防団	13人
十日町市消防団	3人
上越市消防団	1人
魚沼市消防団	1人
津南町消防団	1人

わたしたちは森を守り 災害時は消防団とともに地域を守ります

新潟県
南魚沼森林組合

業務中に災害等があり、在職する消防団員に出動要請があった場合は、優先して出動できるよう職場環境を整備している。それにより従業員が休暇を取得した際は、特別休暇扱いとしている。また、地元地域での災害発生時は本事業所の作業資器材を積極的に貸し出すこととしている。実際の火災事案に際しても、チェーンソーを貸し出して障害物の排除に貢献し、円滑な消火活動に寄与した実績もある。



立木火災の際に職員を派遣し消火活動に貢献した



DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	林業
従業員	42人
うち団員	8人
南魚沼市消防団	8人

消防団とともに安心安全の 地域づくりを目指します

新潟県
株式会社粉研パウテックス六日町工場

従業員が所属する消防団の担当地域で火災等の災害が発生した場合には、業務上“特別休暇(公用外出)”として取り扱い、積極的に消防団活動に参加できるよう勤怠管理を実施している。また、自衛消防組織として各部門に消火班を設置し、迅速な初期消火をできるよう努めており、実際に本事業所近郊の河川敷で枯草火災が発生した際、自衛消防組織を出動させ消防団や消防署の到着まで延焼を防いだ実績もある。



工場近郊で発生した枯草火災において自衛消防組織が初期消火活動を実施し消防車到着まで延焼防止に貢献した

DATA

所在地	新潟県南魚沼市
業種	建設業
従業員	58人
うち団員	15人
南魚沼市消防団	12人
湯沢町消防団	3人

地域の信頼を第一に安全安心な暮らしを守り 地域貢献に寄与します

新潟県
株式会社巴山組

本事業所は、社業の建設業を通して地域の防災と安全で安心な暮らしを守る地域に密着した企業を目指している。

特に中山間地域における消防団活動の重要性を認識しており、現在全社員の2割強が消防団員として入団している。勤務時間内に災害が発生した場合にも、社員が速やかに火災現場に出動できるよう会社全体で協力するような体制をとっている。

又林野火災や火災現場で水利が不十分な場合は町の要請に基づき散水タンク車を出動させ防火水槽へ水の補給も行っている。平成27年度に阿賀町消防団協力事業所として認定され社内はもとより地域の消防防災活動に積極的に寄与し、地域の信頼を得ながら地域貢献に努めている。



DATA

所在地	新潟県東蒲原郡阿賀町
業種	総合建設業
従業員	64人
うち団員	14人
阿賀町消防団	14人

地域貢献のため、 会社全体を上げて消防団活動を支援します。

富山県
朝野工業株式会社

本事業所では地域への貢献を社としているなかで、小学生を対象とした『除雪教室』を開き、地域との繋がりを密にするよう努めている。平成20年4月に魚津市消防団協力事業所として認定され、今日まで消防団への協力支援を積極的に実施し、消防団の確保について社内で行い取り組んできました。現在6名の消防団員が勤務しており、その従業員が災害に伴い出動した時は、他の従業員が仕事を分担するシステムをとっている。消防団活動全般での休暇に関しては有給扱いとし、従業員の消防団活動に対し職場環境を整えています。



朝野工業株式会社社員一同



DATA

所在地	富山県魚津市
業種	総合建設業
従業員	40人
うち団員	6人
魚津市消防団	5人(うち女性0人)
黒部市消防団	1人(うち女性0人)

地域の安心安全に努める事業所

石川県
社会福祉法人門前町福祉会
ふれあい工房あざし

消防団員である従業員には、勤務時間内の災害出動等への対応は勤務扱いとし、災害が発生した場合は迅速に出動できる体制を構築している。また、勤務時間内に出勤した場合には、有給休暇を取得させるなど身体的面においても十分な配慮がなされている。

その他、地域の安心安全に努めるため、消防団員以外の従業員にも普通救命講習等の各種訓練に参加させ、防災に関する知識を高めている。



普通救命講習の写真



DATA

所在地	石川県輪島市
業種	サービス業
従業員	34人
うち団員	5人
輪島市消防団	5人(うち女性0人)

会社全体で消防団活動に貢献

石川県
防災技建株式会社

本事業所は、勤務時間内の災害出動等の対応は勤務扱いとし、災害が発生した場合は迅速に出動できる体制を構築している。また、勤務時間内の出動に際しては、有給休暇を取得させるなど十分な配慮がなされている。その他消防出初め式や火災防ぎょ訓練等の消防団活動にも積極的に参加させている。従業員の過半数近くが消防団員であり、災害が発生した場合の勤務状況は大変であるが、優先して消防団任務にあたらせるなど、会社全体で消防団活動に貢献している。



平成29年消防出初め式（一斉放水）の写真



DATA

所在地	石川県輪島市
業種	建設業
従業員	16人
うち団員	7人
輪島市消防団	7人(うち女性0人)

消防団活動を積極的に協力し、地域社会に貢献しています

福井県
ハヤカワ商事株式会社

代表取締役が元消防団長であり、その実績から従業員に対して防火・防災の指導教育を行い、また各種災害その他消防団活動には積極的に協力し、地域の消防防災体制の充実強化に寄与している。

そして、就業時間中に災害活動およびその他の消防団活動へ出場した場合は、有給休暇扱いとする等、消防団活動への理解が非常に高い事業所である。



DATA

所在地	福井県大飯郡おおい町
業種	製造業
従業員	37人
うち団員	5人
若狭消防組合おおい消防団	5人

団員写真(消防団員就業風景・ネット製造風景)

消防団活動を支援し、 地域に貢献できる会社を目指します。

長野県
株式会社タク技研

消防団員の入団促進を積極的に行い、入団している団員と『消防団活動に関する労働契約書』を交わし、勤務中においても災害が発生した場合には、従業員を現場へ迅速に出動させ、積極的支援を行うことで地域防災力の向上に大きく貢献している。佐久市における消防団協力事業所認定の第1号であり、他の事業所の模範となっている。また、高精度の加工技術を用いた「時を刻む彫刻」は、地元消防団の退団記念品等としても注目されている。



特殊な加工技術で消防団に係る
記念品等も作製している

DATA

所在地	長野県佐久市
業種	製造業
従業員	47人
うち団員	7人
佐久市消防団	6人
小諸市消防団	1人

地域貢献、地域の皆様に感謝、 地域防災を支援します

長野県
飯田化成株式会社

当事業所は、従業員が消防団員として業務中に火災、水防、捜索等の災害関係に出動した場合、日数にかかわらず出勤扱いで対応している。また消防団行事関係では、出初式、各地域行事の警備、演習訓練、火災予防運動における一人暮らし高齢者防火指導等、特にポンプ操法訓練には、社内全体で格別な理解を示し、率先して消防団活動が行えるように協力している



社内消防団による、社内消火
栓を用いた初期消火訓練

DATA

所在地	長野県飯田市
業種	プラスチック製造業
従業員	64人
うち団員	10人
飯田市消防団	7人
高森町消防団	1人
喬木村消防団	2人

自然にやさしく！人にやさしく！ 地域の人々の安心と安全に貢献する会社

岐阜県
馬瀬建設株式会社

消防団活動の重要性を理解し、災害等、発生時には就業中の消防団員を特別休暇扱いで出勤させるなど、団員が活動し易い職場環境を整え、地域に根ざした活動を支援している。過疎化が進み少子高齢化の中、団員確保に積極的に取り組んでいる。

また、建設業という職種から、災害が発生した際に、災害復旧活動及び事業所の資機材等を消防団に提供し、協力体制を構築している。作業現場及び災害時の不測の事態に備えることを目的とし、消防職員を講師として迎え、救命講習を実施している。



救命講習実施状況



DATA

所在地	岐阜県下呂市
業種	建設業
従業員	49人
うち団員	11人
下呂市消防団	11人(うち女性0人)

消防団への理解を示し地域社会に貢献

岐阜県
恵那東海理化株式会社

本事業所は「社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす」の経営理念のもと、地域防災の根幹を担う消防団活動に積極的な理解を示している。特に消防団活動における処遇については、就業時間中の団員が火災等で出勤した場合、特別休暇での対応とし、消防団員が活動しやすい職場環境を整えることで地域社会の安心・安全に大きく寄与している。



消防団員も参加した消火訓練



DATA

所在地	岐阜県恵那市		
業種	製造業		
従業員	432人		
うち団員	34人		
恵那市消防団	19人	中津川市消防団	9人
瑞浪市消防団	1人	土岐市消防団	3人
美濃加茂市消防団	1人	白川町消防団	1人

地域社会に貢献し、 消防団活動への参加を推進します。

岐阜県
石原電機工業株式会社

創業以来、生活に欠かすことの出来ない電気を守り、地域密着企業として社会貢献に取り組んでいる。社会貢献の一環として消防団活動に積極的に関わり、火災の発生時や人命救助等の捜索活動の出動要請には、勤務中でも対応できる様に配慮している。ポンプ操法訓練や火災予防週間の夜警活動にも積極的に参加し地域の安全・安心に貢献できる人材の育成に取り組んでいる。消防団活動に関する取り組みについては、すべて出勤扱いとし、生活面でも安心して活動が出来る体制にしている。



消防団員と散水車



DATA

所在地	岐阜県中津川市
業種	電気工事業
従業員	34人
うち団員	6人
中津川市消防団	5人(うち女性0人)
南木曾町消防団	1人(うち女性0人)

消防団活動と建設業で 地域に貢献し住民を守る。

岐阜県
株式会社立保土木

東白川村のような中山間地域では、若手担い手不足が深刻な問題となっており、消防団も建設業者も同じ問題を抱えている。この様な問題を解決するため、当社は様々な社内改革を行い、消防団活動や地域コミュニケーションが図れるよう企業側の積極支援、若者の子育て支援、建設業の若手技術力向上による担い手不足の解消に取り組み、住みやすく働きやすい環境を整備し、地域の防災力強化に努めている。



年に4回の地域貢献事業(環境整備ロードプレーヤー事業)



DATA

所在地	岐阜県加茂郡東白川村
業種	建設業
従業員	28人
うち団員	11人
東白川村消防団	7人(うち女性0人)
白川町消防団	2人(うち女性0人)
中津川市消防団	1人(うち女性0人)
下呂市消防団	1人(うち女性0人)

安全安心価値の創造で、 社会に貢献する会社。

岐阜県
丸入産業株式会社

当会社は地域に支えられて継続できているとの認識から、社会貢献を大切することとしている。消防活動に関する貢献内容は、地域の消防団に加入し、消防団活動に積極的に参加するよう就業規則にも明記し、地域消防団の団員確保に協力している。

又、現場等で火災や事故等が発生した時には、臨機に応援をすることし、出勤した場合の時間は、労働時間として取扱うことも決めている。

地域の防災に何時でも対応出来るよう、人・物を準備し、地域貢献に寄与している。



地域消防団に在籍している社員を中心にした、会社の防災訓練を毎年実施
消防署の指導を受けながらの消火訓練状況

DATA

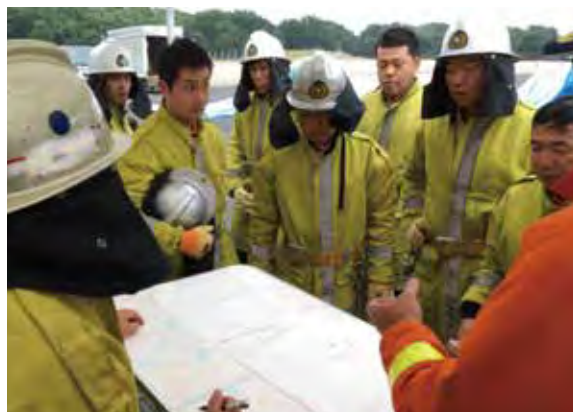
所在地	岐阜県加茂郡白川町		
業種	土木建設業		
従業員	82人		
うち団員	9人		
白川町消防団	6人(うち女性0人)	八百津町消防団	1人(うち女性0人)
七宗町消防団	1人(うち女性0人)	美濃加茂市消防団	1人(うち女性0人)

地域貢献がモットー！ 災害時には様々な活動を支援！

三重県
多気郡農業協同組合

現在、職員数197人のうち14人が消防団に加入しており、火災や風水害等で消防団員の出勤が必要な場合、勤務時間中であっても欠勤扱いとせず、特別休暇扱いにするなどの配慮がなされ、可能な限り現場への出勤に協力している。

また、災害時には食料等の物資提供や倉庫の空きスペースの提供等の支援協力協定を町と締結している。



従業員も参加した火災想定訓練後の検討会の様子

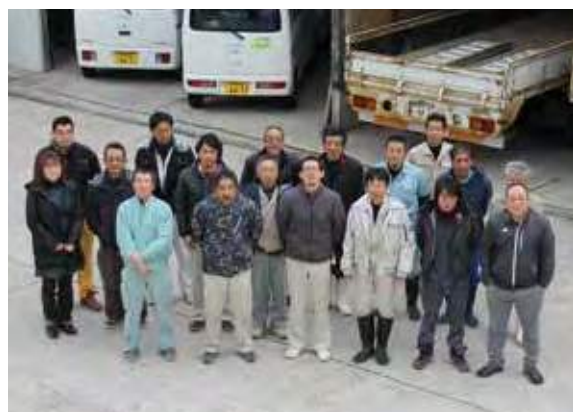
DATA

所在地	三重県多気郡明和町		
業種	農業協同組合		
従業員	197人		
うち団員	14人		
明和町消防団	14人(うち女性0人)		

「奥出雲を愛し、奥出雲を守る。」を モットーに、地域の防災に尽力！

島根県
有限会社吉川工務店

現在5名の消防団員が在籍しており、地域の防災活動に積極的に取り組んでいる。建設業という職種上、屋外の現場作業が多いため、火災等発生時には会社からいち早く各団員に連絡。迅速な行動を取れるよう配慮している。また、勤務時間内の出勤は有給扱いとし、会社を挙げて消防団の支援に努めている。このたび、平成28年度の消防団協力事業所として認定を受けたのを期に、より一層地元・奥出雲の防災活動に貢献したい。



従業員の集合写真。社員数は少ないものの、このうち5名が消防団員として活躍中である。



DATA

所在地	島根県奥出雲町
業種	建設業
従業員	16人
うち団員	5人
奥出雲町消防団	5人(うち女性0人)

社会貢献活動に積極的に参画し、 社会の発展、充実に寄与します。

徳島県
王子製紙株式会社富岡工場

本事業所では防災管理規則、BCPマニュアルを策定し、自衛消防隊は種々訓練と併せ、毎年1回は阿南市消防本部との合同訓練を行っている。「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神で、消防団に所属している従業員も多数おり、有事の際には従業員が憂いなく最優先で地域の消防活動に参加できるよう配慮するとともに、互助の精神により地域に貢献できるよう防災体制の強化に取り組んでいる。



自衛消防隊による消火訓練



DATA

所在地	徳島県阿南市
業種	紙パルプ製造業
従業員	305人
うち団員	30人(王子グループ従業員含む)
阿南市消防団	30人(うち女性0人)

消防団を中核とし 地域との連携に努める会社

高知県
かしま工業株式会社

火災・風水害・捜索等の災害出動時には、社内の団員が現場に急行できるように体制を整えている。自治体からの要請があれば、重機のリースも行っており、地域の安全・住民の安心を第一に業務へあたっている。南海トラフ地震対策へも力を入れており、自社独自の津波避難訓練、起震車を使用しての揺れ体験等も実施している。



黒潮町消防出初式での一斉放水の様子

DATA

所在地	高知県幡多郡黒潮町
業種	建設業
従業員	32人
うち団員	12人
黒潮町消防団	12人(うち女性0人)

地域防災力の充実強化を 消防団と共に促進

高知県
山本建設株式会社

当事業所は、「真心と技術で社会とお付き合い」の経営理念のもと、消防団員の活動に積極的に協力し、地域の消防防災力の充実強化に努めている。

消防団員の従業員が複数名在籍している。道路維持工事に長年携わっている経験を活かし、気象、地震災害等において迅速に資材、重機等の支援をする体制が整っている。

また、南海地震の津波想定高が高い地域であるため、定期的に救急救命訓練、起震車訓練、避難道を使用しての高台避難訓練、及び避難タワーへの避難訓練等を行い、全社員の防災意識を高めている。



起震車を操作し南海地震などの揺れを疑似的に体験

DATA

所在地	高知県幡多郡黒潮町
業種	建設業
従業員	43人
うち団員	5人
黒潮町消防団	5人(うち女性0人)

会社全体で消防団活動を積極的にサポート！！

福岡県
株式会社PLUS通信

本事業所は、代表取締役をはじめ、従業員の約3割が消防団に入団しており、地域防災の根幹を担う消防団活動を行っている。全社員が一丸となって消防団活動をサポートしており、災害現場への出動はもとより、火災防ぎょ訓練や操法大会、出初式、防火パトロール等、各種消防団行事にも専念できる体制が整えられている。また、就業時間中の災害出動は、勤務扱いとし、残りの社員で業務を補う体制をとる等、消防団活動を積極的に支援している。



消防団員である従業員の集合写真

DATA

所在地	福岡県北九州市
業種	電気通信設備工事業
従業員	19人
うち団員	6人
北九州市八幡東消防団	6人

人とまちに寄り添い 安心・安全を目指す事業所

福岡県
筑後地区農業共済組合

本事業所は地域に密着した事業を展開しており、管内消防団はもとより、隣接する4市町村に在籍する消防団員も就業している。火災・風水害・大規模災害時には、就業中であっても消防団活動ができるよう、可能な限り配慮し、地域の安心・安全に努めている。

平成24年度に筑後市消防団協力事業所として認定され、5年にわたり地域防災の充実強化に取り組んでいる。



一斉放水の様子

DATA

所在地	福岡県筑後市		
業種	農業保険		
従業員	36人		
うち団員	5人		
筑後市消防団	1人	柳川市消防団	1人
八女市消防団	1人	広川町消防団	1人
みやま市消防団	1人		

地域に密着し、地域に貢献！ 更には消防団活動にまで！！

長崎県
箱崎漁業協同組合

当事業所は、地域における消防団の役割や消防団活動の重要性を深く理解しており、地域防災に大きく貢献している。

また、隔年で行われている操法大会の時期においても、積極的に消防団員を参加させるなど消防操法に対しても多大な理解と協力がある。

今後も消防団活動を通じて地域貢献に寄与したいと考えている。



壱岐市消防出初式終了後の放水演習の様子

DATA

所在地	長崎県壱岐市
業種	漁業協同組合
従業員	49人
うち団員	7人
壱岐市消防団	970人(うち女性38人)

地域に感謝の心を持ち、 社会の安全に貢献します。

長崎県
有限会社植田瓦工業

従業員の多くが、時津町消防団員であり、消防団活動に積極的に参加している。また、勤務時間中であっても、火災・災害発生時には、消防団活動を優先して実施している。



DATA

所在地	長崎県西彼杵郡時津町
業種	建設業
従業員	7人
うち団員	5人
時津町消防団	240人(うち女性0人)

地域と一体となり 安心・安全な建設業をめざして

長崎県
株式会社榮建設

代表者自ら現役の消防団員であることから、地域防災における消防団の重要性を深く認識し、積極的に活動しており、消防出初式等の式典にも多くの消防団員を参加させている。

火災等の際には、就業中であっても勤免扱いとするなど消防団所属従業員にも配慮がなされ、また、自然災害の折には事業所の資機材等を積極的に貸出するなど、地域における消防防災体制の充実強化に一層の貢献を果たしている。



礼式訓練風景



DATA

所在地	長崎県対馬市
業種	建設業
従業員	34人
うち団員	7人
対馬市消防団	7人(うち女性0人)

消防団活動を通し 安心・安全なまちづくりに貢献

長崎県
増山建設株式会社

増山建設株式会社は、「創造」「実践」「誠実」の社訓をモットーに責任施工の確立はもとより、地域社会に貢献するため、平成28年度から平戸市消防団協力事業所として認定され、社内をはじめ地域の消防防災体制の充実に一層の貢献を果たしている。また、日頃から地域の人々の安心と安全を願っているため、社員には地元の活動には積極的に参加協力するよう促し、地域貢献の最たるものである消防団活動にもできる限り配慮し、職場環境を整えている。



消防出初式で表彰状を受章



DATA

所在地	長崎県平戸市
業種	建設業
従業員	35人
うち団員	6人
平戸市消防団	1,035人(うち女性17人)

地域の安全・安心を目指して、 消防団を支援する

長崎県
平戸建設株式会社

消防団活動の重要性を理解し、地元事業所として消防団の確保に積極的に取り組み、現在6名の消防団員が在籍している。火災などの災害発生時には、就業中であっても欠勤とせず職務免除とする配慮がなされ、速やかな出動が可能な組織体制をとっている。平成28年度には平戸市消防団協力事業所として認定され、社内をはじめ地域の消防防災体制充実に一層の貢献を果たしている。



消防出初式での一斉放水の様子

DATA

所在地	長崎県平戸市
業種	建設業
従業員	47人
うち団員	6人
平戸市消防団	1,035人(うち女性17人)

地域に密着！ 消防団活動を支援します

長崎県
立石重機工業有限公司

火災等災害発生時には迅速に災害現場で活動することができる態勢となっている。また、就業時間内における災害発生時の出動に際しては、職務免除として扱うなど職場全体で消防団活動に対する協力体制が整備されている。また、有事の際には、会社で所有している資機材を率先して提供しており、職場を挙げて地域の消防防災力の充実強化に努めている。



消防出初式での分列行進の様子

DATA

所在地	長崎県平戸市
業種	建設業
従業員	16人
うち団員	5人
平戸市消防団	1,035人(うち女性17人)

農家・地域住民との厚い絆

地元を愛し、愛される消防団活動を支援します

宮崎県
都城地区農業共済組合

地域密着型の団体として、消防団活動の重要性が広く認知されており、就業時間中の緊急出動について、業務に支障がない限り、最優先で出動させる職場環境づくりがなされている。出動時間については、特別休暇扱いとされるため、団員も安心かつ積極的に緊急出動することができ、消防体制の充実に大きく貢献している。

また、平成25年に都城市消防団協力事業所へ認定され、地域の消防防災力充実強化に一層の貢献を果たしている。



消防団員を中心とした避難・救助訓練



DATA

所在地	宮崎県都城市
業種	農業・畜産業者保険
従業員	78人
うち団員	14人
都城市消防団	10人(うち女性0人)
三股町消防団	4人(うち女性0人)

地域に密着し、 消防防災体制の充実を支援します

鹿児島県
鹿児島いずみ農業協同組合

地元事業所として消防団員の確保に積極的に取り組み、平成23年度から出水市消防団協力事業所として認定されている。現在23名の団員が在籍しており、勤務中における有事の際の出動及び消防団行事への参加の配慮等、消防団活動の重要性を理解し、地域の消防防災体制充実に一層の貢献を果たしている。また事業所敷地内を操法訓練場所として提供しており、団員の技術向上に事業所を挙げて取り組んでいる。



操法訓練の様子



DATA

所在地	鹿児島県出水市
業種	総合職
従業員	450人
うち団員	23人
出水市消防団	23人

【編】 消防庁 地域防災室

〒100-8927 東京都千代田区霞ヶ関2丁目1番2号

電 話 03-5253-5111(代表)

03-5253-7561(直通)

ファックス 03-5253-7576

ホームページ <http://www.fdma.go.jp/>



消防庁